

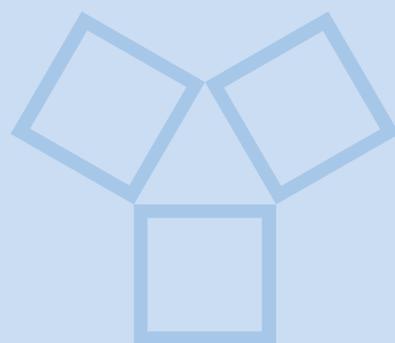
2017

平成 29 年度

横浜美術館年報

Yokohama Museum of Art Annual Report

April 2017 – March 2018



YOKOHAMA MUSEUM OF ART

2017

平成 29 年度

横浜美術館年報

Yokohama Museum of Art Annual Report

April 2017 – March 2018

目次

基本方針・沿革	5
展覧会事業	
概要	7
企画展1 ファッションとアート 麗しき東西交流	8
企画展2 ヨコハマトリエンナーレ2017「島と星座とガラパゴス」	10
企画展3 石内 都 肌理(きめ)と写真	12
横浜美術館コレクション展 2017年3月25日(土)-6月25日(日)	14
横浜美術館コレクション展 2017年12月9日(土)-2018年3月4日(日)	16
New Artist Picks 谷保玲奈展—共鳴	18
調査研究・普及活動(個人)	20
美術情報センターの活動	23
教育普及事業	
概要	25
鑑賞サポート	26
子どものアトリエ	33
市民のアトリエ	36
市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業	
市民協働	39
地域社会や市民生活に貢献する事業	41
美術品の収集、保存・修復、貸出	
収集	43
保存・修復	44
貸出	46
広報の活動、外部と連携した事業	
広報	50
外部と連携した事業	53
来館者へのおもてなし	55
国際的な交流・発信	57
資料	
入館者数・収支	62
役員等・組織図	63
職員名簿	64
条例・施行規則	65
施設概要・利用案内	70

注

本年報では、各展覧会を一部下記の略称で表記しています。
「ファッションとアート 麗しき東西交流」…ファッション展
「ヨコハマトリエンナーレ2017『島と星座とガラパゴス』」…ヨコトリ2017
「石内 都 肌理(きめ)と写真」…石内都展
「横浜美術館コレクション展」…コレクション展
「New Artist Picks 谷保玲奈展—共鳴」…谷保玲奈展

基本方針・沿革

基本方針：国際都市横浜にふさわしい世界に開かれた美術館を目指して

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団は、横浜市との政策協働による指定管理者制度に基づき、平成25年度から10年間にわたり横浜美術館の運営を担っています。10年間にわたる重点項目として、「発信力の強化」「教育プログラムの強化」「市民とつながるプログラムの強化」「営業力の強化」「経営基盤と人材の強化」の5つを定め、次に掲げる美術館を目指しています。

- ・市民の誰もが美術に親しみ、多くの市民に「観る」「創る」「学ぶ」機会を提供することにより、市民の創造性を育み、心豊かで活力に満ちた生活の実現に貢献する美術館。
- ・世界各国の美術館や美術関係者などとのネットワークの強化や国際交流を促進するとともに、横浜独自の魅力的で質の高い美術文化を国内外に発信することにより、国際都市横浜の魅力とアイデンティティの確立に貢献する美術館。
- ・市民、学校、NPO、企業等の様々な立場や年代、属性を持つ人々と協働することにより、市民から親しまれ、市民が集う、地域に開かれた美術館。
- ・未来を担うこどもたちの創造性を育むため、地域の学校や大学などと連携した取組みを進め、文化芸術教育の中心的な役割を担う美術館。

沿革

昭和62年10月	運営組織として財団法人横浜市美術振興財団設立
昭和63年3月	建物竣工
9月	横浜美術館条例制定
平成元年2月	外構工事完了
3月25日	美術館開設(横浜博覧会施設として)
11月3日	横浜美術館条例施行・開館
平成14年4月	運営組織が財団法人横浜市文化振興財団と統合され、財団法人横浜市芸術文化振興財団となる。
平成18年4月	管理運営に指定管理者制度が導入され、財団法人横浜市芸術文化振興財団が指定管理者となる。(2年間)
平成20年4月	横浜市芸術文化振興財団・相鉄エージェンシー・三菱地所ビルマネジメント共同事業体が指定管理者となる。(5年間)
平成21年7月	財団法人横浜市芸術文化振興財団が公益法人として認可され、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団となる。
平成25年4月	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団が指定管理者となる。(10年間)

展覧会事業

概要

展覧会は美術館で実施されるさまざまな活動のなかでも、中心的な事業です。横浜美術館では、現在、おおむね次の3種類の展覧会を実施しています。

1つめは、企画展あるいは特別展と呼ばれる展覧会です。内外の美術館やコレクターなどから、一定のテーマに基づいて作品や資料を借用し展覧会を構成します。2つめは、コレクション展です。美術館が収集してきた美術品や資料をご覧いただく展覧会です。3つめは、「New Artist Picks」(NAP)という呼び名を持つ展覧会です。今後の活躍が期待される若いアーティストが、小企画スペースであるアートギャラリー1、グランドギャラリーやCafé小倉山など、館内のさまざまな場所を使って意欲的な作品を発表します。

企画展

横浜美術館は次のような基本方針により、年間3～4本、バラエティに富んだ内容で企画展を実施しています。平成元年の開館以来、これまでに119本の企画展が開催されました。

- 1 国際港都横浜にふさわしい世界的な視野の企画。
- 2 地域の人々が現代美術に親しみ、現代美術に対する理解を促すような企画。
- 3 横浜と日本写真史の関係を重視し、国際的視野における現代までの写真を多角的にとらえた企画。
- 4 近代日本の美術および横浜ゆかりの美術展。特に原三溪ゆかりの作家を重視しつつ、開港以来の洋画・日本画の流れを歴史的にとらえた企画。また、横浜出身または在住作家を中心に、横浜の美術史を多角的に紹介する企画。
- 5 建築、工芸、デザインなど生活に密着した分野の企画。

また、平成23年度からは横浜トリエンナーレを企画展事業のひとつとして位置づけています。
(平成29年度3展合計入場者数：201,276人)

コレクション展

当館では、4部屋の展示室を使って、年間2～3回の展示替えをおこない、コレクションを紹介しています。12,000点を越えるコレクションの中から、常時200～300点の作品を厳選して展示します。毎回テーマを設定することで、さまざまな角度からコレクションの魅力にアプローチをしています。当館の収集方針に基づき、分野ごとの特徴をわかりやすく展示する会期もあれば、全体を統一したテーマで構成し、分野を横断した展示を行うこともあります。

(平成29年度2展合計入場者数：94,764人)

New Artist Picks (NAP)

NAP(ナップ)は、New Artist Picksの頭文字を採った呼び名で、横浜美術館の学芸員が独自の視点で選出する国内外の新進アーティストによる小展覧会です。平成18年から進めてきた若手作家支援のプログラムが、平成25年から刷新され、新たなシリーズとして登場しました。年1回程度実施し、入場無料でご覧いただけます。

担当学芸員一押し、ユニークな活動を展開しつつある有望な若手アーティストをご紹介します。

(平成29年度入場者数：6,717人)



企画展1 ファッションとアート 麗しき東西交流

横浜美術館では初となる、ファッションをテーマとする展覧会を開催しました。京都服飾文化研究財団との共同企画により、同財団所蔵のドレスや服飾品など90件を中心に、国内外の美術館や個人が所蔵する服飾品、工芸品、絵画など計211件を展観。日本と西洋が互いの装いと生活の文化をどのように受容・展開していったかをたどりました。

第1章「東西文化の交差点 YOKOHAMA」では、1859年に開港し、交易の拠点であるとともに東西の文化が行き来する玄関口の役割を担った横浜に焦点を当てました。椎野正兵衛商店製の室内着や、宮川香山の真葛焼など、横浜から輸出された服飾品や工芸品を展示しました。第2章「日本 洋装の受容と広がり」では、明治政府による西洋化政策のもと、皇族・華族の女性たちが着用したドレスや、昭和初期にかけて庶民の女性たちに浸透した和洋折衷の装いを、実際の服飾品と絵画、写真で紹介しました。昭憲皇太后の大礼服を、精緻な刺繍が施されたトレーンが映えるよう大きなステージに設置し、展示のハイライトとしました。第3章「西洋 ジャポニスムの流行」では、1870年代から1920年代のオートクチュールのドレスを時代と特徴ごとにグルーピングしたステージを構成し、絵画や家具、食器など当時のライフスタイルを伝える品々とともに展示。万博を契機に日本が西洋のファッションと生活に与えた影響を紹介しました。

ジャポニスム学会共催のシンポジウムでは、東西のファッションと美術の相互影響について、服飾史、生活美術、描かれたファッションの観点から考察し、それらを融合させた複眼的な歴史観を提起しました。



ポスター



チラシ



カタログ

広報印刷物デザイン：近藤一弥

カタログデザイン：林 琢真

撮影：加藤 健 (P.8 ❖除く)

主催：横浜美術館、公益財団法人京都服飾文化研究財団
日本経済新聞社

後援：横浜市

特別協力：株式会社ワコール、三菱一号館美術館

協力：日本宝飾クラフト学院、公益社団法人服飾文化研究会
みなとみらい線、横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ
首都高速道路株式会社

会期：平成29年4月15日(土)-6月25日(日)
*5月4日(木・祝)は開館、5月8日(月)は休館
5月17日(水)は20時30分まで夜間開館

開催日数：62日

観覧料：一般1,500円、大学・高校生900円、中学生600円
小学生以下無料、65歳以上1,400円
先行ペア券2,000円
*6月2日(金)は無料

入場者数：45,805人

出品作品数：211件

出展作家(店・会社・メゾン含む)：152件(86件および不詳のもの66件)

アーニー&grant	月岡(大蘇)芳年	富川香山(初代)
安達(松斎)吟光	ティファニー商会	ミュラー、アルフレード
アンリ・ベルトラン社	デ・ニッテイス、ジュゼッペ	ミントン社
飯田高島屋	デュナン、ジャン	武蔵屋
井上良斎(二代)	ドゥイエ	モリナーリ、グイード
井村彦次郎商店	ドゥーセ	モリヌー
ウィーン工房	ドミニク&ハフ社	師岡宏次
ウォルター&ジョン・バー	ドメルグ、ジャン=ガブ	矢島智三郎
ナード社	リエル	山崎商店
ウォルト	トレスマン&ヴォーグ社	山村耕花
歌川(五雲亭)貞秀	ド・ワグネル、マルグリット	山本芳翠
エイミー・リンカー	ト・ブザンソン	楊齋延一
江原庄兵衛	丹羽阿樹子	楊州周延
エルテ	野澤屋	ラリック、ルネ
オー・ミカド店	バカラ社	リパティ商会
岡田三郎助	服部	リモージュ窯
小川月舟	波々伯部金洲	ルーゼ
勝田 哲	バルビエ、ジョルジュ	ルシール
勝山繁太郎・矢島徳三郎	パンガ	ルフ
鏡木清方	パンゴン夫人	ルフエーヴル、ジュール
ガレ、エミール	フォルチュニエ、マリアノ	=ジョゼフ
キャロ姉妹店[推定含む]	フレーグ、エミリーエ[推	ロイヤル・ウースター社
ゴーチェ、カミーユ	定]	W.T. コープランド&サ
ゴーハム社	ペール	ンズ社
五姓田義松	ベニート、エドゥアルド・	作者不詳[日本製51件]
後藤省三郎	ガルシア	作者不詳[ヨーロッパ
駒井	ペロー社	および日本製]
サツケツティ、エンリコ	ホーソーン、チャールズ・	作者不詳[フランス製7
椎野正兵衛商店	ウェブスター	件、推定含む]
清水市郎	ポール・ポワレ	作者不詳[アメリカ3件、
シャネル	マイセン王立磁器製作所	推定含む]
ジャンヌ・ランヴァン	マドレーヌ・ヴィオネ[推	作者不詳[イギリス製]
ステヴァンス、アルフ	定含む]	作者不詳[生産国不詳
レッド	丸嘉	3件]
ターナー	御木本真珠店	
玉乃屋伊藤	三谷十糸子	

カタログ：238頁

発行：株式会社六耀社

編集：横浜美術館・京都服飾文化研究財団

執筆：沼田英子「異なる文化が出会う時」

深井晃子「東から西へ、西から東へ。ファッション往来」

周防珠実「明治期の輸出室内着」

内山淳子「和装から洋装へー鏡木清方のまなざし」



企画展2 ヨコハマトリエンナーレ2017「島と星座とガラパゴス」

第6回横浜トリエンナーレはキュレーターの三木あき子氏と共に逢坂恵理子館長と柏木智雄副館長がコ・ディレクターを務め、分野や世代の異なる専門家6名(スハーニャ・ラフェル、スプツニ子!、高階秀爾、リクリット・ティラヴァーニヤ、鷲田清一、養老孟司)を迎えた「構想会議」を組織し、英国EU離脱、移民・難民の問題、ポピュリズムの台頭など世界の情勢について議論を重ね、展覧会のテーマを「接続」と「孤立」に決めました。そして、本テーマについて独自の視点を持つ38作家1プロジェクトを選定し、作家の考え方や作品の深層に触れられるよう、1室1作家を基本とする個展の集合体としての展覧会を構成しました。

美術館の外壁、カフェ、美術情報センター、美術の広場、みなとみらい駅構内、会場間無料バスなど展示室以外にも作品を展示し、グランドギャラリーには建築家の藤原徹平が横浜国立大学の学生とともに丹下健三の意匠から着想した空間を設計しました。また、現代美術家たちの作品を当館収蔵のシュルレアリスム作品と並置するなど、当館の収蔵品も活用されました。

会期中の関連事業には、さまざまな分野の専門家が本展テーマを拡張する議論の場としての「ヨコハマラウンド」や、市内の歴史的なスポットに目を向けた「ヨコハマサイト」、映像作品を上映する「ヨコハマスクリーニング」に加えて、外部組織と連携する「ヨコハマプログラム」として、水族館劇場による寿町での演劇公演と美術情報センターと鶴見大学共催による古地図の展示を実施しました。また、教育普及グループ主催の鑑賞ガイドや参加作家によるワークショップなど、館内でも部門を横断して事業に取り組みました。

主催: 横浜市、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

支援: 文化庁(国際芸術フェスティバル支援事業)

特別協力: 独立行政法人国際交流基金、公益財団法人神奈川芸術文化財団

後援: 外務省、神奈川県、神奈川新聞社、tvk(テレビ神奈川)、タイ王国大使館、マレーシア大使館

特別協賛: 寺田倉庫

協賛: 日産自動車株式会社、三井不動産グループ、三菱地所グループ、株式会社エヌ・シー・エヌ、スターツグループ、すてきなイスグループ株式会社、大日本印刷株式会社、株式会社高島屋、横浜店、株式会社富士通エフサス、銘建工業株式会社、森ビル株式会社、横浜銀行、上野トランステック株式会社、NTT東日本、株式会社大林組、公益財団法人大林財団、川本工業株式会社、株式会社キタムラ、株式会社崎陽軒、株式会社サカタのタネ、NEC、原鉄道模型博物館、富士ゼロックス株式会社、横浜信用金庫

助成: 損保ジャパン日本興亜「SOMPO アート・ファンド」(企業メセナ協議会 2021 Arts Fund)、フランス大使館、アンスティチュ・フランセパリ本部、公益信託タカシマヤ文化基金、プリティッシュ・カウンスル、駐日アイルランド大使館、カルチャー・アイルランド、ゲーテ・インスティテュート/東京ドイツ文化センター、公益社団法人企業メセナ協議会 2021 芸術・文化による社会創造ファンド

協力: アサヒビール株式会社、ココヨカムリン社

認証: beyond 2020プログラム

チケットサポーター: みなとみらい21熱供給株式会社、ジョイホース横浜株式会社横浜アリーナ、株式会社 横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜)株式会社、竹中工務店、公益財団法人クマ財団、西田浩久、林 幸枝、アクティオ、田村賢太、西城裕之、Café小倉山、堀江武史、舟田英一、横浜ウォーター株式会社、京急百貨店、株式会社トロンマネージメント、横浜ペイクォーター、アーネストクラブ、株式会社 JTBコーポレートセールス、城西国際大学メディア学部、横浜美術協会、草間 剛

会期: 平成29年8月4日(金)-11月5日(日)

開場日数: 88日

主会場: 横浜美術館、横浜赤レンガ倉庫1号館、横浜市開港記念会館 地下 ほか

コ・ディレクター: 逢坂恵理子、三木あき子(キュレーター/ベネッセアートサイト直島インターナショナルアーティスティックディレクター)、柏木智雄

構想会議メンバー: スハーニャ・ラフェル(M+美術館 エグゼクティブ・ディレクター)、スプツニ子!(アーティスト/東京大学生産技術研究所RCAデザインラボ特任准教授)、高階秀爾(美術史家/大原美術館館長/京大名誉教授)、リクリット・ティラヴァーニヤ(アーティスト/コロムビア大学芸術学部教授)、鷲田清一(哲学者/京都市立芸術大学学長/せんだいメディアテーク館長)、養老孟司(解剖学者/京大名誉教授)

観覧料: 鑑賞券=一般1,800円、大学・専門学校生1,200円、高校生800円、中学生以下無料、同時期に開催されたアートプログラムとの連携セット券=一般2,400円、大学・専門学校生1,800円、高校生1,400円、中学生以下無料

入場者数: 131,112人(総入場者数:259,032人)

出品作品数: 345件
(横浜赤レンガ倉庫1号館、横浜市開港記念会館 地下会場、コレクション作品含む)

出展作家: 38組のアーティスト/1プロジェクト/8コレクション作家*

アイ・ウェイウェイ(艾未未)	シャウキー、ワエル	ヘラー、カールステン/レー
アヴィアント、ジョコ	スライマン、シュシ	ベルガー、トビアス/サラ、
青山 悟	瀬尾夏美	アンリ&ティラヴァーニヤ、
宇治野宗輝	タンギー、イヴ*	リクリット
エリアソン、オラファー	チェン、イアン	ホルツァー、ジェニー
エルンスト、マックス*	デュラント、サム	マークス、ハーヴェイ・R*
小沢 剛	照沼敦朗	マップオフィス(グティエレス、
風間サチコ	トゥルヴェ、タチアナ	ローラン/ポルトフェ、
カテラン、マウリツィオ	伝ハイン、ペーター・B.W.*	ヴァレリー)
川上澄生*	ハートリー、アレックス	ミスター
川久保ジョイ	バターソン、ケイティ	ミロ、ジョアン(マルクーシ、
木下 晋	畠山直哉	レイとの合作)*
キャルトンソン、ラグナル	ピヴィ、パオラ	メッパイル、ブラバワティ
小西紀行	平柳田中*	柳 幸典
ザ・プロペラ・グループ(ブナム、ルセロ、マッコ、グエン、トゥアン・アンドリュウ)	フスティニアーニ、マーク	ヤンコフスキー、クリス
ザオ、ザオ(赵赵)	ブルイット、ロブ	チャン
サマツ、アン	ブルームバーグ&チャナリン	ドン、ユアン(董媛)
	ブレンダーガスト、キャシー	レイ、マン*
		Don't Follow the Wind

カタログ: 160頁
発行:株式会社青幻舎
編集:横浜トリエンナーレ組織委員会、押金純士



ポスター

広報印刷物アートディレクター: 大西隆介 (direction Q)
ロゴ・イメージビジュアル: PARTY

1. アイ・ウェイウェイ(艾未未)《安全な通行》2016
《Reframe》2016 撮影:加藤 健
©Ai Weiwei Studio
2. マップオフィス「アイルランド・リゾート」展示風景
撮影: ERIC
3. ザオ・ザオ《プロジェクト・タクラマカン》2016
撮影: ERIC
4. 川久保ジョイ「エル・スルー 南方」展示風景
撮影: ERIC
5. ジョコ・アヴィアント《善と悪の境界はひどく縮れている》2017 撮影:加藤 健

写真提供: 横浜トリエンナーレ組織委員会



チラシ



カタログ



企画展3 石内都 ^{きめ}肌理と写真

石内都（1947年生まれ）は、2014年にアジア人女性として初めてハッセルブラッド国際写真賞を受賞するなど、現在、最も高く評価される写真家のひとりです。1977年にデビューを果たしてから40年となる節目に、国内では8年ぶりとなる大規模な個展「肌理と写真」を開催しました。

展覧会では、石内の写真表現を「肌理」というキーワードで捉え直し、デビュー前の作品から最新作にいたる約240点を、「横浜」「絹」「無垢」「遺されたもの」の4章で構成しました。初展示作品としては、石内がアトリエを構えた横浜市金沢区の風景を写した〈金沢八景〉のほか、広島原爆犠牲者の遺品を撮影した〈ひろしま〉の最新作などを紹介。また、同時開催のコレクション展では、〈絶唱・横須賀ストーリー〉当館所蔵の全55点に、当時の資料を加えた特集展示を行い、企画展・コレクション展を通して石内が築きあげた写真世界を辿りました。

会期中には対談をはじめ、上映&トーク、作家によるギャラリートークなど多彩なイベントを開催し、好評を得ました。また、横浜に本社をもつチョコレートデザイン株式会社と協働し、石内の作品イメージをパッケージに使用した特製のチョコレートを2種類販売しました。

- 主催**：横浜美術館
助成：芸術文化振興基金
制作助成：公益財団法人テルモ生命科学芸術財団
協賛：株式会社ニコン、株式会社ニコンイメージングジャパン株式会社 資生堂
協力：The Third Gallery Aya、みなとみらい線 横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ、首都高速道路株式会社 チョコレートデザイン株式会社
会期：平成29年12月9日(土)-平成30年3月4日(日)
 *3月1日(木)は開館、年末年始(12月28日[木]-1月4日[木])は休館
開催日数：69日
観覧料：一般1,500円、大学・高校生900円、中学生600円
 小学生以下無料、65歳以上1,400円、先行ペア券2,000円
入場者数：24,359人
出品作品数：約150件
出展作家：1人
 石内都
カタログ：250頁
 発行：株式会社 求龍堂
 編集：大澤紗蓉子、日比野民蓉
 執筆：逢坂恵理子「石内都一限りある時間を越えて」
 ジェフリー・アングルス「歴史のシミ」
 石内都「記憶が飛ぶ空へ」
 リック・オウエンス「親愛なる都へ」
 大澤紗蓉子「石内都—Yokohama Story」



ポスター



チラシ



カタログ

広報印刷物・カタログデザイン：加藤勝也

撮影：原田要介(P.12 ❖除く)



横浜美術館コレクション展 2017年3月25日(土) - 6月25日(日)

自然を映す

特集展示: 写真と絵画—ピクトリアリズムの興隆

今期は、第33回全国都市緑化よこはまフェア『歴史と未来の横浜・花と緑の物語』の開催に寄せて「自然を映す」と題し、美術家たちが自然をどう捉え、表現してきたかを、企画展「ファクションとアート 麗しき東西交流展」に関連させて東西交流の視点を示す章も交え、計219作品により9章で構成しました。

身近な切り花をモチーフとする作品や風景を描く作品などから自然と人間とのかかわりを示す章に始まり、東西の美術家たちによる庭園や公園を描いた作品の章、草木をモチーフに深い精神性を表現した長谷川潔と駒井哲郎の作品や、花咲き乱れ、緑豊かな山々を色鮮やかに描く丸山晚霞らによる水彩で描かれた風景画の魅力伝える章を設けました。

また、現代作家が自然と向き合い、新たな表現としてどのような作品を展開していったかを示す章では、菅木志雄の《散境》を採りあげました。空間全体と「もの」との相互の関係性によって作品を成立させる「もの派」の代表的な作家であり、現在もなお精力的に制作を続ける菅自身によって、第2展示室の空間に合わせて再構成された新たな展示は、本展の見どころとなりました。

日本画コレクションからは代表的な花鳥画を展示し、写真展示室ではピクトリアリズムに焦点を当て、梅阪鷺里らを初め国内外の写真家による作品を展示しました。

自然を映す

- 1 自然に向き合う
- 2 庭園にみる東西のまなざし
- 3 植物をみつめる: 長谷川潔と駒井哲郎
- 4 水彩で描く風景
- 5 現代の表現から
- 6 現代の表現から: 菅木志雄
- 7 日本画: 花鳥風月、共に在り

[写真展示室] 特集展示: 写真と絵画—ピクトリアリズムの興隆
イサム・ノグチと近代彫刻



チラシ



広報印刷物デザイン: 峯石景子

撮影: 加藤 健 (P.14 ❖ 除く)

会 期: 平成29年3月25日(土)-6月25日(日)

*5月4日(木・祝)は開館、4月14日(金)、5月8日(月)は休館
4月1日(土)、6月2日(金)は無料開館
5月17日(水)は20時30分まで夜間開館

開催日数: 79日

入場者数: 59,616人

出品作品数: 219件

出展作家: 106人

「自然を映す」

アジェ、ウジェーヌ
イースト、アルフレッド
池上秀敏
伊藤誠二
井上良斎(三代)
茨木猪之吉
今村紫紅
遠藤典太
大下藤次郎
太田晴雨
岡田謙三
小川原脩
小倉遊亀
小茂田青樹
オルリック、エミール
恩地孝四郎
加藤土師萌
加山四郎
鏡木清方
川上澄生
川口軌外
川西 英
北岡文雄
北 久美子
木村莊八
工藤甲人
クローゼン、ジョージ
小西真奈
小林清親
小林古径
駒井哲郎
近藤弘明
斎藤 清
桜庭彦治
志村計介
菅 木志雄
須田悦弘
セザンヌ、ポール
高橋由一
高間惣七
武内鶴之助
ディックス、オットー
テルヴォー、ポール
ドービニー、シャルル
フランソワ

長井朋子
中島清之
ハイド、ヘレン
長谷川潔
速水御舟
東山魁夷
菱田春草
日高理恵子
ビタール、アドルフ(編者)
藤井健司(制作時: 藤井 雷)
松井冬子
丸山晚霞
宮川香山(初代)
ミラー、ピーター・D
ミロ、ジョアン
メンペス、モーティマー
守 洞春
安田 悠
安田鞞彦
山下清澄
吉田 博
吉田ふじを
四方田草炎
ラム、バーサ
ルソー、テオドール
ワグマン、チャールズ

ステューグリッツ、アルフレッド
タルボット、ウィリアム・ヘンリー・フォックス
ドマシー、ロベール
錦古里孝治
ピュヨー、E・J・コンスタン
ヒル、ディヴィッド・オクタヴィウス
フォン・グレーデン、ヴィルヘルム
福原信三
福原路草
ホワイト、クラレンス・H
山本牧彦
ルニョー、アンリ・ヴィクトール
レイランダー、オスカー・ガスターヴ
ロビンソン、ヘンリー・ピーチ
石田尚志

「イサム・ノグチと近代彫刻」

アルプ、ハンス(ジャン)
岩崎貴宏
オルデンバーグ、クレス
ザッキン、オシップ
ダリ、サルバドール
デ・キリコ、ジョルジオ
ノグチ、イサム
ブランクーシ、コンスタンティン
ブロック、カーティス
マグリット、ルネ
マッソン、アンドレ
ミロ、ジョアン
湯原和夫
(※姓の50音順)

「写真と絵画—ピクトリアリズムの興隆」

梅阪鷺里
エマーソン、ピーター・ヘンリー
カーティス、エドワード・シェリフ
キャメロン、ジュリア・マーガレット
ケゼビアー、ゲルト
ルード
コバーン、アルヴィン・ラングドン
島村達紅
スタイケン、エドワード



横浜美術館コレクション展 2017年12月9日(土) - 2018年3月4日(日)
全部みせます! シュールな作品 シュルレアリスムの美術と写真
特集展示: 石内 都「絶唱、横須賀ストーリー」

横浜美術館は、開館に先立つ1983年から30余年にわたりシュルレアリスムの作品を幅広く収集してきました。分野は西洋画、写真、彫刻、版画にわたり、エルンスト、マツソン、ミロ、ダリ、マグリット、タンギー、マン・レイといった西洋の代表的作家のみならず、マッタ、ドミンゲス、ラムといったヨーロッパ外の出身の作家、そして福沢一郎、小川原脩、北脇昇ら、日本の作家も含まれています。これまでこれらの作品は選択的にコレクション展の一部として展示されてきましたが、本展では初めて展示可能なものすべてを一度に網羅し、シュルレアリスムと何らかの関係のあった作家を含め、全53作家による349点を、3つの展示室をフルに使うことで展示しました。構成は、作品鑑賞と直接結びつく11の標語を設定して分類し、辞書的・年表的説明を極力排した解説を付すことで、とかく難解とされるシュルレアリスムの美術を現前する作品に則して親しんでいただくことを目指しました。また、学芸員によるスライドレクチャー「シュールな美術のたのしみ方」も開催しました。展覧会、レクチャーともにお客様の反応は好評で多くのご来館をいただき、改めて当館におけるシュルレアリスム美術への期待が大きいことが示されました。

全部みせます! シュールな作品 シュルレアリスムの美術と写真

- 1 上手である必要はない
- 2 手さぐりの風景
- 3 その風景は、見つかることもある
- 4 探していたのは、これだった
- 5 女神か怪物か、それとも?
- 6 あなたは私のどこが…
- 7 おとなの人形あそび
- 8 讀える方法
- 9 死を克服する方法
- 10 絵と言葉が出逢った
- 11 シュルレアリスムはスタイルか?

[写真展示室] 特集展示: 石内 都「絶唱、横須賀ストーリー」

イサム・ノグチと近代彫刻

会 期: 平成29年12月9日(土) - 平成30年3月4日(日)
 *3月1日(木) は開館、年末年始(12月28日[木]-1月4日[木]) は休館

開催日数: 69日

入場者数: 35,148人

出品作品数: 423点

出展作家: 59人

「全部みせます! シュールな作品」

アームストロング、ジョン
 アジェ、ウジェーヌ
 アボット、ベレニス
 アルプ、ハンス(ジャン)
 ウンボ
 瑛丸
 エリュアール、ポール
 エルンスト、マックス
 小川原 脩
 オッペンハイム、メレット
 カーアン、クロード
 カーシュ、ユーサフ
 桂 ゆき
 カルティエ=ブレッソン、アンリ
 川口軌外
 川崎亀太郎
 北角玄三
 北脇 昇
 クートー、リュシアン
 クレー、パウル
 ケルテス、アンドレ
 コーネル、ジョゼフ
 小牧源太郎
 ジャコモッティ、アルベルト
 シュティルスキー、インドリツヒ
 ダリ、サルバドール
 タンギー、イヴ
 鶴岡政男
 デ・キリコ、ジョルジオ[工房作含む]
 デイックス、オットー
 デルヴォー、ポール
 ドミンゲス、オスカル

ニューマン、アーノルド
 浜田知明
 ハルスマン、フィリップ
 ピカソ、パブロ
 福沢一郎
 ブラッサイ
 ブラント、ビル
 ブリュアン、カミーユ
 ヘイター、スタンリー・ウィリアム
 ヘルメール、ハンス
 ボワフアール、ジャック=アンドレ
 本庄光郎
 マグリット、ルネ
 マツソン、アンドレ
 マッタ、ロベルト
 マルクーシ、ルイ
 ミロ、ジョアン
 ユゴー、ヴァランティエヌ
 ラム、ヴィフレド
 レイ、マン
 ヴォルス

「石内 都「絶唱、横須賀ストーリー」
 石内 都[作家所蔵資料6点含む]

「イサム・ノグチと近代彫刻」

オルデンバーグ、クレス
 ザツキン、オシップ
 ダリ、サルバドール
 ノグチ、イサム
 ブランクーシ、コンスタンティン
 湯原和夫



New Artist Picks 谷保玲奈展—共鳴

当館では、将来活躍が期待される若手作家を、いち早く取り上げる展覧会「New Artist Picks (NAP)」を、毎年開催してきました。平成29年度は、新進気鋭の日本画家・谷保玲奈の個展を開催しました。

谷保玲奈（たには・れいな／1986年生まれ）は、本格的な創作活動を開始して6年目となる若手画家です。谷保は、一貫して、寄り集まり増殖していくかのような海洋生物や植物などを、複雑な構図と日本画の顔料特有の鮮やかで瑞々しい色彩で描き続けてきました。画面に描かれる要素は互いに呼応し合いごめくかのように、観る者を眩惑する不思議な絵画体験に誘います。その制作の背景には、生命発生の始原に対する強い関心や生命記憶の神秘への共感や共鳴があります。本展は、谷保のこうした関心に基づいて制作された新作1点と近作・旧作8点および画稿・素描で構成されました。

公立美術館での初個展となる本展において、谷保は新作《共鳴》を制作しました。この新作においては、豊富な画材協賛を得たことによって、更に多彩な色彩表現を試みる事が可能となり、今後の画業の展開を示唆する制作に意欲的に取り組むことができました。

また、Café小倉山では近作《seed II》とともに、本制作のための予備的な素描や下絵・画稿を展示し、制作の背景を紹介しました。

主催：横浜美術館、公益財団法人五島記念文化財団
会場：アートギャラリー1、Café小倉山
協賛：寺田倉庫、TERRADA ART ASSIST 株式会社
制作協力：PIGMENT

協力：Café小倉山
会期：平成30年3月17日(土)~4月22日(日)
 *Café小倉山：平成30年3月16日(金)~4月22日(日)

開催日数：33日

観覧料：無料

入場者数：6,717人

出品作品数：10件

出展作家：1人
 谷保玲奈



DM



広報印刷物デザイン：
 阿部太一 (TAICHI ABE DESIGN INC.)

撮影：島村美紀

リーフレット

調査研究・普及活動(個人)

紀要

横浜美術館研究紀要

第19号, 2018年

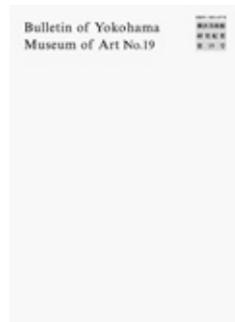
59頁

発行日:平成30年3月31日(土)

発行部数:500部

掲載論文:

- ・「研究ノート 中島清之の戦時日記 1938年~1939年より」内山淳子
- ・「日本万国博覧会EXPO'70と吉村益信《大ガラス》の成立について」木村絵理子
- ・「川面義雄旧蔵 原三溪書簡を読む 一『三溪帖』『余技』『三溪画集』編纂と晩年の文化人交流」柏木智雄



収藏品目録

収藏品目録2016年(平成28年度)

43頁

発行日:平成29年10月31日(火)

発行部数:500部



普及活動(個人)

◎執筆・寄稿

逢坂恵理子

- ・「美術教育が人間らしく生きることを可能にする」『形 forme』No.313-2017年, 日本文教出版

沼田英子

- ・『かわいいジャポニスム』東京美術, 2017年10月
- ・映画『メットガラ ドレスをまとった美術館』フライヤーへのコメント寄稿

八柳サエ

- ・「専門性と公開性が同居する〈知のパラダイス〉」小規模図書館奮闘記 その241 横浜美術館美術情報センター『図書館雑誌』Vol.111-no.6, 日本図書館協会, 2017年6月
- ・全国美術館会議第47回情報・資料研究部会報告(全国美術館会議ホームページ)
- ・「源氏物語」と古地図で読み解く「ヨコハマトリエンナーレ2017」『有鄰』第522号, 有隣堂, 2017年9月

帆足亜紀

- ・「CINEMA」『PEN 433号』CCCメディアハウス, 2017年8月

木村絵理子

- ・「アーティスト・インタビュー 荒川医」『美術手帖』美術出版社, 2017年4月号
- ・「絵画の本質へー嵯峨篤の挑戦」『嵯峨篤』スカイザバスハウス, 2017年
- ・「Alternative is Over 一終わりか、あるいは始まりか?」『Art Center Ongoing 2008-2018』Art Center Ongoing, 2018年2月
- ・「ダークなカルチャーの世界へようこそ。」『VOGUE JAPAN』コンテナスト・ジャパン, 2017年12月号
- ・「石川竜一への告白」『日産アートアワード2017』カタログ, 日産自動車, 2018年3月

庄司尚子

- ・「金理有 at 黄金茶室展カタログ」MZarts

松永真太郎

- ・金沢美術工芸大学「だいちの星座」活動記録集

大澤紗蓉子

- ・DJ「もしもし『幽霊について』展覧会レビュー(ウェブサイト「DJもしもしの幽霊について」), 2017年5月

◎発表・講演会・シンポジウム

逢坂恵理子

- ・トーク KAAT Exhibition『詩情の森』KAAT, 4月30日(日)
- ・講演「アートとは何か~横浜トリエンナーレの軌跡~」『クリエイティブな人のための知的教養講座P』3rd_PAGE, 7月4日(火)
- ・講演「ヨコハマトリエンナーレ2017」『横浜美術館協会』横浜美術館, 9月2日(土)
- ・講演「横浜美術館館長による横浜トリエンナーレ入門!」NHK文化センター横浜ランドマーク教室, 9月13日(水)
- ・講演「現代美術一享受する可能性」東京美術倶楽部, 10月7日(土)
- ・トーク 映画『オラファー・エリアソン 視覚と知覚』ハラミュージアムアーク, 11月18日(土)
- ・シンポジウム「現代アートの行方」『創造都市ネットワーク日本(CCNJ) 平成29年度ネットワーク会議/水と土の芸術祭2018』リゅーとびあ, 2月8日(木)

柏木智雄

- ・座談会「開港記念会館の歴史から未来の姿までを考える」横浜市開港記念会館100周年記念式典, 7月1日(土)
- ・鼎談「横浜ウォーカー×関東学院大学×横浜市による生涯学習講座『横浜学』」KGU 関内メディアセンター, 9月3日(日)

帆足亜紀

- ・シンポジウム「Relight Symposium 2017」日本財団, 12月17日(日)
- ・クローズドディスカッション「アーカスプロジェクトがこれから目指すべきもの」アーカスプロジェクト, 11月23日(木祝)
- ・社会を指向する芸術のためのアートマネジメント育成事業「フィールド調査実習」, 12月5日(火)
- ・「アーカイブズの利活用に関する有識者検討会」アーカスプロジェクト実行委員会, 3月25日(日)

八柳サエ

- ・講演会「鑄木清方と金沢八景一別荘(游心案)のことなど」鎌倉市鑄木清方記念美術館, 6月6日(火)
- ・トークイベント「近藤恵介個展における鑄木清方『卓上芸術』に関する近藤恵介とのトークイベント」MA2 Gallery, 8月23日(水)

端山聡子

- ・早稲田大学文学部学芸員資格課程 第8回特別講演会「文化財を守るために2-身近な文化財-」早稲田大学戸山キャンパス, 3月10日(土)
- ・全国美術館会議第32回学芸員研修会「社会状況の多様化に美術館はどう向き合うか」分科会6「美術館が地域とつながる仕組み」ファシリテーター, 3月19日(月)・20日(火)

木村絵理子

- ・座談会「ユリイカ増刊号『総特集 奈良美智の世界』学芸員座談会 奈良美智展ができるまで」, 青土社, 5月8日(月)
- ・横浜トリエンナーレのキュレーターに学ぶ「現代アートの『国際展』の潮流」Courrier Japon, 9月14日(木)

日比野民蓉

- ・トークイベント「ライラックとアンジェリカ展における山本渉、笹井青依、佐藤佑樹とのトークイベント」Cale, 10月29日(日)

◎非常勤講師等

柏木智雄

- ・横浜国立大学大学院都市イノベーション学府「近代美術論」, 4月7日(金)-9月30日(土)
- ・横浜美術大学「美術保存I,II 臨場保存修復論」, 7月12日(水), 1月10日(水)
- ・京都造形大学 通信教育学部「和の伝統文化コース 絵画と日本文化b」, 10月8日(日)・9日(月祝)

関 淳一

- ・横浜国立大学大綱中学校 進路学習「職業講話」, 7月18日(火)

帆足亜紀

- ・岡山市文化振興推進プロジェクト運営事業アートプログラム レクチャー&ディスカッション「現代のアートと出会う3つの扉」, 2月17日(土)

山崎 優

- ・平成29年度秦野市立こども園職員研修「身近な描画材ークレパスの指導一」, 5月22日(月)
- ・平成29年度神奈川県公立幼稚園・こども園新規採用教員研修講座「幼児の表現活動のあり方」, 5月26日(金)
- ・神奈川県私立幼稚園連合会 平成29年度中堅教諭を対象に絵画・造形に関する実技研修, 6月14日(水), 9月20日(水), 10月18日(水)
- ・平成29年度小学校図画工作科夏季実技研修, 7月25日(火)・26日(水)
- ・伊勢原市私立幼稚園協会 研究部「描画について」, 8月28日(月)
- ・磯子区保育士会研修, 9月16日(土)
- ・横浜市児童相談所一時保護係 学習担当実技研修会, 10月24日(火)
- ・平成29年度横浜市特別支援学校教育研究会実技研修会, 12月2日(土)
- ・JICA日系研修幼児教育コース, 12月12日(火)
- ・平成29年度横須賀市私立幼稚園 教員講習会/神奈川県オープン講座, 2月28日(水)

内山淳子

- ・上智大学外国語学部2017年秋学期開講輪講科目「ヨーロッパの芸術と文化」, 10月24日(火)

端山聡子

- ・多摩美術大学「生涯学習概論R(前期)」「美術普及概論(後期)」[PBL I-83五感を刺激するワークショップ実践], 通年
- ・早稲田大学文学部「博物館教育論(学芸員夏季)A」夏季集中, 8月9日(水)・10日(木)

襟川文恵

- ・横浜美術大学「寺田倉庫寄付講座 修復保存コース『クリエイター・サバイバル論』」, 6月13日(火), 11月21日(火)

木村絵理子

- ・共立女子大学「博物館学概論_02」, 9月21日(木)-3月30日(金)
- ・NPO法人アーツユニシアティヴトウキョウ[AIT][アーティスト・プラクティス2017]チュートリアル, 3月30日(金)まで
- ・「現代アートの『国際展』の潮流と美術館」桜美林大学グローバルコミュニケーション学群「グローバル化と社会(文化交流)」, 12月18日(月)
- ・東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻3年「曇気楼」展講評, 12月28日(木)
- ・京都市立芸術大学美術学部美術科彫刻研究室講評会, 2月8日(木)

坂本恭子

- ・文教大学「アート・マネジメント論」(春学期集中講義ゲスト講師), 8月22日(火)

◎委員・審査員等

逢坂恵理子

- ・国立西洋美術館評議員
- ・東京国立近代美術館評議員
- ・東京都現代美術館美術資料収蔵委員会委員
- ・金沢21世紀美術館 美術館美術品収集委員
- ・大阪市特別参与
- ・地域創造理事
- ・高松宮殿下記念世界文化賞アジア委員会推薦委員(絵画/彫刻部門)
- ・第34回(2018)京都賞思想・芸術部門審査委員会委員
- ・鹿島美術財団理事
- ・京都服飾文化研究財団評議員
- ・HOW Art Museum, International Advisory Board member(上海)
- ・滋賀県立近代美術館協議会専門委員
- ・大阪大学COデザインセンター外部委員
- ・International Biennale Association 理事
- ・第11回ヒロシマ賞選考委員会委員

柏木智雄

- ・第7回東山魁夷記念 日経日本画大賞 推薦委員
- ・独立行政法人日本芸術文化振興会「美術の創造普及活動に対する助成に関する調査研究」有識者検討委員会委員
- ・横須賀美術館運営評価委員会委員
- ・東京国立近代美術館作品美術品購入選考委員会委員(美術部門)
- ・独立行政法人日本芸術文化振興会「芸術文化振興基金運営委員会」多分野共同等専門委員
- ・芸術文化振興基金運営委員会美術専門委員及び文化施設展示活動専門委員
- ・平成29年度東京国立近代美術館美術作品修理業務企画審査員

沼田英子

- ・版画学会運営委員

調査研究・普及活動（個人）

帆足亜紀

- ・ せんだいメディアアテーク「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」アドバイザー
- ・ 埼玉県立近代美術館協議会委員

八柳サエ

- ・ 公益財団法人佐藤国際文化育英財団佐藤美術館奨学生選考委員

関 淳一

- ・ 第10回アンテルセン公園子ども美術館運営審議会

内山淳子

- ・ 横浜市青葉区「青葉アートカンファレンス」委員

端山聡子

- ・ 藤沢市アールスペース運営協議会委員
- ・ 文化庁・平成30年度伝統文化親子教室（地域展開型）事業企画案選定委員会委員

木村絵理子

- ・ アートアワードトーキョー丸の内2017審査員
- ・ 若手写真家育成プロジェクト「Magnify Photo」審査員
- ・ アジアン・カルチュラル・カウンシル2018年度フェロウシップ美術部門審査員
- ・ 第11回ヒロシマ賞候補作家推薦委員
- ・ 弘前市芸術文化施設（仮称）の作品収集、アーティスト・イン・レジデンス事業等に関するヒアリング

松永真太郎

- ・ 東京国立近代美術館美術作品評価員（写真部門）
- ・ 東京都写真美術館作品資料収蔵委員会 評価部会

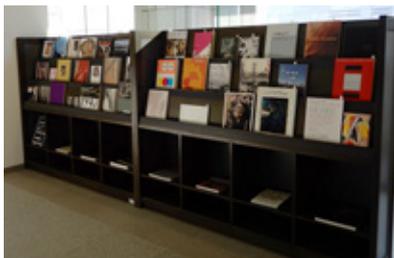
美術情報センターの活動



特別資料展示「日本洋画曙光」



特別資料展示「ITOKO SHINODA(篠田桃紅)」



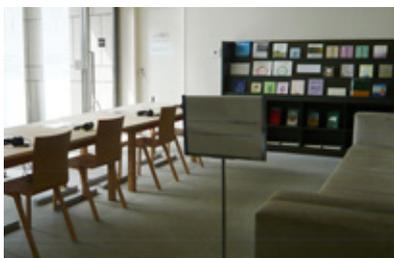
石内都展 関連資料コーナー



ヨコトリ2017 関連プログラム「つながる古地図」展示



コレクション展「自然を映す」展示室での展示



ヨコトリ2017 アーティスト展示(瀬尾夏美氏)

美術情報センターは、美術に関する図書資料、映像資料等を収集、整理、保存し、市民や研究者の利用に供することを目的としています。また、所蔵資料を活用し、コレクション展との連携を行っています。

開室時間：10:00～18:00 *年末年始及び特別整理期間は休室

収集・整理・保存・利用状況

収集実績

	購入	寄贈	合計
和書	16冊	275冊	291冊
洋書	8冊	33冊	41冊
和カタログ	0冊	990冊	990冊
洋カタログ	0冊	63冊	63冊
収集総数			1,385冊
蔵書総数			113,104冊

逐次刊行物 3,283タイトル

利用状況

開室日数：304日 利用者数：71,692人
レファレンス：1,196件
閉架資料利用：2,825冊
コピー利用：623件 ビデオ利用：52件

特別整理期間

期間：6月5日(月)～15日(木)
概要：和カタログのうち45,527冊および洋書のうち3,489冊の点検を実施。

所蔵資料貸出

美術情報センター外への所蔵資料貸出

*美術館外への貸出は、美術品の収集、保存・修復、貸出 貸出 参照(P.46-49)

- ・コレクション展「自然を映す」
展示資料9件貸出
3月21日(火)～6月30日(金)
- ・新規収蔵作品管理システムへの登録用
作品画像収録資料 70件貸出
6月23日(金)～9月5日(火)
- ・コレクション展「全部みせます! シュールな作品」
展示資料3件貸出
12月2日(土)～3月6日(火)

トークイベント

横浜中央図書館ヨコハマライブラリースクール「学芸員の仕事とは? - 横浜美術館の場合」
日時：10月7日(土) 14:00～16:00
会場：横浜市・中央図書館5階
担当：八柳サエ
参加人数：35人

資料展示等

特別資料展示(ガラス展示ケース)

- ファッション展連動企画
「洋画への眼差しを辿る一秋田蘭画研究のさきがけ『日本洋画の曙光』」
3月24日(金)～7月23日(日)
13図と1冊(含む2図)、計14点
- ヨコトリ2017 ヨコハマプログラム
鶴見大学×横浜美術館美術情報センター
「ひろがる源氏、つながる古地図」
8月4日(金)～9月13日(水)
源氏物語に関する古典籍等 20点
9月15日(金)～11月5日(日)
古地図 14点
- 石内都展連動企画
「『ITOKO SHINODA(篠田桃紅)』より」
11月23日(木祝)～3月20日(火)
7図と帙1点、解説冊子1点 計9点
※特別資料展示の関連資料コーナー：展示架公開資料11冊

公開資料展示架

- ファッション展 関連資料コーナー
集まれ! ファッションのテーマ展
4月15日(土)～7月31日(月) 28点
- ヨコトリ2017
瀬尾夏美 出品番号02《二重のまちを読む》関連資料展示 8月4日(金)～11月5日(日)
瀬尾夏美蔵書 43点
- 石内都展 関連資料コーナー
12月9日(土)～3月4日(日) 44点

大学連携

鶴見大学文学部ドキュメンテーション学科「特別実習I」ヨコトリ2017関連展示横浜美術館現場ガイダンス
日時：5月20日(土) 13:30～16:00
会場：円形フォーラム
担当：八柳サエ
参加人数：15人
・同大学同学科による、ヨコトリ2017期間内
8月3日(木)～9月13日(水) 延べ40日間延べ75名(含 教員、学生)による展示解説の受入

施設情報掲出

第19回 図書館総合展
日時：11月7日(火)～9日(木) 10:00～18:00
会場：パシフィコ横浜

教育普及事業

概要

横浜美術館の教育普及活動は、開館以来実績を積み上げてきた造形プログラムに、鑑賞プログラムを組み合わせ、特色ある事業を展開しています。また、学校教育や環境啓発など、地域や社会と連携した新しい取組みも積極的に行っています。

子どものアトリエは、小学校6年生(12歳)までの子どもを対象とした創造の場です。「自分の目で見て、自分の手で触れ、自分でやってみる」ことを造形美術の基本と考え、遊びを通したさまざまな造形体験を提供しています。「プレイルーム」「クラフトルーム」「光と音のスタジオ」において、平日には幼稚園・保育園、小学校、特別支援学校などの教育機関と連携し造形や鑑賞の活動を行う「学校のためのプログラム」を、休日には個人を対象とした「親子のフリーゾーン」や「造形講座」を行っています。春と夏には「教師のためのワークショップ」を開催し、指導者への研修事業に取り組んでいます。

市民のアトリエは、12歳以上が対象で、市民と作家あるいは市民と市民が、美術の「つくる」プロセスを通して出会う場です。展覧会や美術作品への理解を深めるため、年間を通じて企画展やコレクション展と関連する内容ははじめ多彩な実技講座を開催しています。平面室は、絵画制作を中心に、さまざまな表現による作品制作を行うスペースです。立体室には、彫塑をはじめ、各種の立体制作を行う設備が揃っています。版画室では、銅版画・リトグラフ・シルクスクリーン・木版の各版種を本格的に制作することができます。

教育プロジェクトは鑑賞を中心にしたプログラム展開をしています。エドゥケーターのもつさまざまな専門性をベースにしたコレクション展ギャラリートークの実施、ボランティアによる企画展事前ガイダンス、中高生の年代を対象にした個人向けや学校向けプログラムなどを提供し鑑賞をサポートしています。また、学校教育や地域福祉関係の支援団体との連携、ボランティア活動を中心とした市民協働など、美術館を地域に開き市民生活に繋げていく取組みを行っています。

平成29年度の総括

横浜トリエンナーレの開催年にあたり、3チームが主要事業を継続しながら、ヨコトリ2017に関連した取組みを実施しました。

教育プロジェクトは、団体向けの事前ガイダンスや一般向けのギャラリーツアー、作品前トーク、英語によるトークなどを担うボランティアを育成し、横浜トリエンナーレサポーターのトーク活動を充実させると同時に、「中高生プログラム」もヨコトリ2017をテーマに実施しました。

市民のアトリエでは学芸員とヨコトリ2017出品作品(版画)をもとに当館コレクションのシュルレアリスムの作品と手法とを関連づける試みや、出品作家による鉛筆画や、写真、ブロンズ作品のワークショップなど、創作と鑑賞を通し作品や作家・技法などへの理解を深める美術館のアトリエならではの取組みに着手しました。

子どものアトリエでは、「親子のフリーゾーン」にヨコトリ2017に関する創作コーナーを設け、終了後に教育プロジェクトが育成した横浜トリエンナーレサポーターによる鑑賞ツアーにつなぐ試みや、個人講座をトリエンナーレ仕様に編成するなど、子どもたちが楽しみながら横浜トリエンナーレに親しめるよう工夫をしました。

グループの事業全体に内部や外部機関との連携、アーティストや教師などとの協働が浸透し、より豊かな展開と深まりにつながりました。

企画展

◎ファッション展

講演会「日本のジュエリーの歴史と美—近代の髪飾り、帯留、指輪など」

日時: 4月22日(土) 14:00~15:30

講師: 露木 宏(宝飾研究家/日本宝飾クラフト学院理事長)

会場: レクチャーホール

参加人数: 90人

YMA & KCI キュレーターズ

リレー・ギャラリートーク

日時: (各金曜) 4月28日, 5月12日・19日・26日, 6月9日 15:00~15:40

担当: 沼田英子, 内山淳子, 周防珠実(京都服飾文化研究財団キュレーター)
長谷川珠緒, 坂本恭子

会場: 4月28日, 5月12日・19日=企画展展示室
5月26日, 6月9日=グランドギャラリー

参加人数: 35人, 50人, 50人, 50人, 80人

夜の美術館でアートクルーズ

日時: 5月20日(土) 19:00~21:00

担当: 沼田英子, 内山淳子

参加費: 3,000円

会場: 企画展展示室

参加人数: 58人

Think of Fashion 特別編

トークイベント「モードとジャポニスム—過去・現在・未来—」

日時: 5月21日(日) 15:00~16:30

出演: 堀畑裕之, 関口真希子(matohu)

周防珠実(京都服飾文化研究財団キュレーター)

会場: 円形フォーラム

参加費: 一般2,500円, 学生1,500円

参加人数: 33人

シンポジウム「ファッションとアートにみる東西交流の諸相」

日時: 5月27日(土) 13:30~16:30

基調講演講師: 深井晃子(京都服飾文化研究財団理事/名誉キュレーター)

パネリスト: 岡部昌幸(帝京大学教授/群馬県立近代美術館館長)

周防珠実(京都服飾文化研究財団キュレーター)

内山淳子

モデレーター: 沼田英子

会場: レクチャーホール

参加人数: 240人

教師向け鑑賞カード

「井村彦次郎商店 カップ&ソーサー」

「楊洲 周延《幻燈写心競 女史演説》」

ウェブダウンロード公開: 5月1日(月)

ワークショップ

親子講座「いとじゅんさんとファッションショー!」

*教育普及事業 子どものアトリエ 個人の造形講座 参照(P.35)

日本刺繍の魅力 鑑賞と創作体験

*市民のアトリエ ワークショップ 展覧会関連ワークショップ 参照(P.37)

◎ヨコトリ2017

小学生/中学生のための「ヨコトリ2017をもっと楽しむ!鑑賞ポケットガイド」

配布月: 7月

配布先: 市内全小中学校

発行部数: 小学生版 205,000部

中学生版 105,000部

子どもアドベンチャー「親子で現代アート体験!」(小1~中3親子)

日時: 8月17日(木)・18日(金) 10:00~16:00

会場: 展示室, アートギャラリー1・2 他

参加人数: 1,283人

ヨコハマ・バラトリエンナーレ2017

1万人とつくる! 井上唯 whitescaper ワークショップ

日時: 8月20日(日) 10:00~14:00

出演: 井上 唯

会場: アートギャラリー1

参加人数: 120人

夜の美術館でアートクルーズ

日時: 9月9日(土) 17:45~20:30

(17:45~18:30 レクチャー,

18:30~20:30 自由鑑賞)

担当: 逢坂恵理子, 木村絵理子

会場: 展示室

参加費: 4,000円 ※他日使えるヨコハマトリエンナーレ2017鑑賞券付

参加人数: 121人

わくわく日曜鑑賞講座

親子講座 横浜美術館鑑賞クラブ

「美術ってなんじゃもんじゃ?」

担当: 山崎 優, 岡崎智美, 高徳早矢香

低学年1日コース

日時: 9月10日(日) 14:00~16:00

対象: 小学校1・2・3年生と保護者

参加費: 親子2名で1,000円

(1人追加で+500円)

参加人数: 35人

高学年2日間コース

日時: 9月17日(日), 10月1日(日)

14:00~16:00

対象: 小学校4・5・6年生と保護者

参加費: 親子2名で2,000円

(1人追加で+1,000円)

参加人数: 49人, 38人

夜間開館スペシャルトーク

「美術の空間をめぐる対話 ~エレメンツ/プログラム/素材~」

日時: 10月27日(金) 18:30~19:30

登壇者: 青木 淳(建築家)

逢坂恵理子

田鎖郁男(株式会社エヌ・シー・エヌ

代表取締役社長/株式会社MUJI HOUSE 専務取締役)

藤原徹平(ヨコハマトリエンナーレ

2017空間設計担当/建築家/横浜

国立大学大学院建築都市スクール

(Y-GSA) 准教授/フジワラテッペ

イアーキテクツラボ主宰)

会場: 円形フォーラム

参加人数: 74人

中高生プログラム

ヨコトリ2017「美術を体験しよう! 伝えよう!」

担当: 端山聡子, 河上祐子, 大岩久美

●第1回 はじめに。展示室をみる

日時: 6月18日(日) 10:00~14:30

講師: 逢坂恵理子

会場: 展示室, 8階

参加人数: 19人

●第2回 アーティストと出会う。からっぽの

展示室をみる

日時: 7月9日(日) 10:00~12:00

講師: 木下 晋(アーティスト)

会場: 展示室, 8階

参加人数: 20人

●第3回 オープン前会場見学。こども探検隊

の企画①

日時: 7月30日(日) 10:00~14:00

講師: 柏木智雄

ジヨコ・アヴィアント(アーティスト)

会場: 展示室

参加人数: 18人

●第4回 アーティストと出会う。こども探検隊

の企画②

日時: 8月6日(日) 10:00~14:30

講師: 柳 幸典(アーティスト)

会場: 横浜市開港記念会館

参加人数: 17人



ファッション展 シンポジウム



ファッション展 アートクルーズ



ファッション展 子どものアトリエ親子講座



ヨコトリ2017「ヨコハマラウンド」8 撮影:加藤 健



ヨコトリ2017「ヨコハマラウンド」bis 撮影:田中雄一郎



ヨコトリ2017 ヨコハマサイト 撮影:ERIC

●第5回 アーティストと出会う。こども探検隊の企画③
日時:8月11日(金祝) 10:00~14:00
講師:風間サチコ(アーティスト)
会場:展示室,8階
参加人数:19人

●第6回 こども探検隊リハーサル
日時:8月20日(日) 10:00~14:00
会場:展示室,8階
参加人数:19人

●第7回 こども探検隊
日時:8月27日(日) 9:30~14:30
会場:展示室,8階
参加人数:48人

●第8回 これまでを振り返って
日時:9月10日(日) 10:00~12:00
会場:8階
参加人数:18人

●第9回 番外編1:記録誌をつくる①
日時:10月29日(日) 10:00~11:30
会場:8階
参加人数:11人

●第10回 番外編2:記録誌をつくる②
日時:11月23日(木祝) 10:00~11:30
会場:NDCグラフィックス
参加人数:10人

●第11回 番外編3:記録誌完成会
日時:3月25日(日) 10:30~11:30
会場:8階
参加人数:13人

特別支援学校のためのプログラム

●横浜市立日野中央特別支援学校生徒によるワークショップ「特別支援学校生徒と一緒におしゃれな新聞ばつぐをつくろう!」
日時:10月1日(日) (8月23日リハーサル)
会場:アートギャラリー2
参加人数:76人(8月23日 2人)

●聖坂養護学校のためのプログラム「ヨコハマトリエンナーレ2017鑑賞とワークショップ」
日時:10月20日(金) 10:30~13:30
会場:展示室,円形フォーラム
参加人数:42人

視覚に障がいのある人のための作品解説ツアー

日時:(各土曜) 9月2日・9日・30日,10月21日
10:30~12:00,13:30~15:00
担当:関 淳一
会場:展示室
参加人数:8人,9人,10人,6人

視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

日時:9月16日(土)・23日(土祝)
担当:視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ
会場:展示室
参加人数:12人,15人

**教師のための鑑賞会
横浜美術館コレクションと学校をつなぐ鑑賞会②**

日時:9月23日(土祝) 10:30~11:30
担当:端山聡子,河上祐子,大岩久美
会場:展示室
参加人数:13人

サポーターによる事前ガイダンス(個人向け)

実施回数:71回
会場:正面入口付近
参加人数:736人

サポーターによる事前ガイダンス(事前申し込みのあった団体来場者に随時実施)

実施回数:100回
会場:アートギャラリー1
参加人数:4,410人

サポーターによるギャラリーツアー(個人向け)

実施回数:187回
会場:展示室
参加人数:1,664人

サポーターによる外国語トーク(個人向け)

実施回数:30回
会場:グランドギャラリー
参加人数:63人

サポーターによる外国語トーク(団体向け)

実施回数:3回
会場:アートギャラリー1
参加人数:37人

ヨコトリ2017をチラ観しよう!(フリーゾーン参加親子)

日時:8月20日(日)・27日(日),9月10日(日)・17日(日)・24日(日),10月8日(日)・15日(日)・22日(日)
会場:横浜美術館(前庭、入口無料エリア)
参加人数:63人・107人,83人・75人・73人,63人・64人・96人

ワークショップ

・優美なコラボレーション(鑑賞と体験)
・畠山直哉・写真ワークショップ
- Printmaking with Light 光でつくる版画
・木下 晋・鉛筆画ワークショップ
*市民のアトリエ ワークショップ 展覧会関連ワークショップ 参照(P.37)

◎石内都展

対談 桐野夏生(小説家)×石内都
 日時:12月9日(土) 14:00~15:30
 会場:レクチャーホール
 参加人数:201人

石内都アーティストトーク

※終了後、作家による展覧会カタログのサイン会を実施。
 日時:1月13日(土) 14:00~15:30
 聞き手:逢坂恵理子
 会場:レクチャーホール
 参加人数:183人

上映&トーク

石内都の創作を追った映画『ひろしま 石内都・遺されたものたち Things Left Behind』(2012年、80分、リンダ・ホーランド監督)の上映と、石内とゲストによるポストトーク。
 日時:2月18日(日) 13:30~16:00
 出演:リンダ・ホーランド(映画監督)、
 榎木野衣(美術批評家)、石内都
 会場:レクチャーホール
 参加人数:179人

学芸員によるギャラリートーク

日時:1月6日(土)・19日(金)、2月3日(土)・16日(金)
 14:00~14:30
 担当:大澤紗蓉子,日比野民蓉
 会場:企画展展示室
 参加人数:40人・20人,30人・30人

夜の美術館でアートクルーズ

日時:2月10日(土) 19:00~21:00
 担当:逢坂恵理子,大澤紗蓉子,日比野民蓉
 会場:企画展展示室
 参加費:3,000円
 参加人数:55人

石内都によるギャラリートーク

日時:3月3日(土) 18:30~19:30
 会場:企画展展示室
 参加人数:230人

ヨコハマトリエンナーレ2017 関連プログラム等

◎ヨコハマトリエンナーレ2017公開対話シリーズ「ヨコハマラウンド」

ラウンド1<0と1の間にあるアート>
 日時:平成29年1月15日(日) 14:00~16:00
 登壇者:養老孟司(解剖学者/東京大学名誉教授)
 布施英利(美術批評家/解剖学者)
 総合進行:三木あき子
 会場:レクチャーホール
 参加人数:173人

ラウンド2<創造と汚染>

日時:平成29年3月25日(土) 14:00~16:15
 登壇者:今福龍太(文化人類学者・批評家/東京外国語大学大学院教授)
 リクリット・ティラヴァーニヤ(アーティスト/コロンビア大学芸術学部教授)
 ファシリテーター:スプツニ子!(アーティスト/マサチューセッツ工科大学メディアラボ助教)
 総合進行:三木あき子
 会場:レクチャーホール
 参加人数:165人

ラウンド3<島とオルタナティブ:歴史・社会、医療、アート>

日時:5月28日(日) 14:00~16:00
 登壇者:マップオフィス(アーティスト)
 稲葉俊郎(医師/東京大学医学部附属病院循環器内科助教)
 吉見俊哉(社会学・カルチュラルスタディーズ研究者/東京大学大学院教授)
 総合進行:三木あき子
 会場:レクチャーホール
 参加人数:149人

ラウンド4<繋がる世界と孤立する世界>

日時:8月4日(金) 14:00~15:15
 5日(土) 14:00~15:15
 16:30~17:45
 PART1「ユートピア/コミュニティ/共に生きること」
 登壇者:アレックス・ハートリー
 ワエル・シャウキー
 キャシー・ブレンダー・ガスト
 モデレーター:
 リクリット・ティラヴァーニヤ
 PART2「アジアからの視点」
 登壇者:ジョコ・アヴィアント
 マーク・フスティニアーニ
 シュシ・スライマン,ザオ・ザオ
 モデレーター:スハーニヤ・ラフェル
 PART3「異なる歴史と新たな再会」
 登壇者:オリバー・チャナリン

サム・デュラント
 クリスチャン・ヤンコフスキー
 モデレーター:三木あき子
 会場:円形フォーラム
 参加人数:75人,90人,64人

ラウンド5<ガラバゴス考察>

日時:8月26日(土) 14:00~16:00
 登壇者:長谷川真理子(行動生態学・自然人類学者/総合研究大学院大学学長)
 ドミニク・チェン(情報学研究者/早稲田大学文学学術院准教授)
 川久保ジョイ(出版作家)
 総合進行:三木あき子
 会場:レクチャーホール
 参加人数:156人

ラウンド6<新しい公共とアート>

(横浜国立大学大学院Y-GSAとの共催)
 日時:9月18日(月祝) 14:00~16:00
 登壇者:小林重敬(都市計画学者/横浜国立大学名誉教授)
 内藤 廣(建築家/東京大学名誉教授)
 西沢立衛(建築家/横浜国立大学大学院教授)
 北山 恒(建築家/横浜国立大学名誉教授)*司会
 総合進行:三木あき子
 会場:レクチャーホール
 参加人数:172人

ラウンド7<我々はどこから来てどこへ行くのか?>

日時:10月21日(土) 14:00~16:00
 登壇者:小林憲正(宇宙生物学者/横浜国立大学大学院教授)
 平野啓一郎(小説家)
 畠山直哉(写真家)
 モデレーター:三木あき子
 会場:レクチャーホール
 参加人数:187人

ラウンド8<より美しい星座を描くために:アートの可能性とは?>

日時:11月3日(金祝) 14:00~16:00
 登壇者:構想会議メンバー+コ・ディレクター
 会場:レクチャーホール
 参加人数:198人

公開対話シリーズ

「ヨコハマラウンド」ラウンドbis

●みえること/みえないこと

日時:8月19日(土) 13:00~14:30
 登壇者:風間サチコ(出版作家)
 瀬尾夏美(出版作家)
 照沼敦朗(出版作家)



ヨコトリ2017 オラファー・エリアソンWS 撮影:加藤 健



ヨコトリ2017 ヨコハマプログラム 水族館劇場 撮影:ERIC



ヨコトリ2017 アートクルーズ



ヨコトリ2017 中学生プログラム



横浜美術館コレクションと学校をつなぐ鑑賞会



ヨコトリ2017 市民協働シンポジウム

モデレーター:中野仁詞(ヨコハマトリエンナーレ2017 キュレーター)
会場:円形フォーラム
参加人数:45人

●歴史と私

日時:8月19日(土) 15:00~16:30
登壇者:宇治野宗輝(出展作家)
青山 悟(出展作家)
ミスター(出展作家)
モデレーター:木村絵理子
会場:円形フォーラム
参加人数:57人

●K.T.O.と横浜・インド

日時:8月20日(日) 13:30~15:30
登壇者:小沢 剛(出展作家)
木下長宏(美術史家)
モデレーター:柏木智雄
会場:円形フォーラム
参加人数:43人

●パオラ・ピヴィー——アーティストトーク

日時:8月25日(金) 15:30~17:00
登壇者:パオラ・ピヴィー(出展作家)
聞き手:三木あき子
会場:円形フォーラム
参加人数:32人

◎ヨコハマサイト

期間:8月4日(金)-11月5日(日)
会場:日本郵船氷川丸,日本郵船歴史博物館,
海上保安資料館横浜館,旧横浜港駅プ
ラットフォーム跡,横浜税関資料展示室,
掃部山公園,横浜外国人墓地,岩亀稲荷
展示作品:田村友一郎《y座》

◎オラファー・エリアソン《Green light——アーティストック・ワークショップ》

グリーンライト制作ワークショップ
開催日:8月7日(月)・18日(金)・27日(日),9月
3日(日),7日(木)・8日(金)・12日(火)・
22日(金)・24日(日),10月1日(日)・15
日(日)・21日(土)・28日(土)・31日(火),
11月4日(土)・5日(日)

理解講座

グリーンライト制作ワークショップも同時開催

●「ワタシが難民になったら」

日時:8月21日(月)・28日(月)
13:00~17:30
講師:穂積武寛(AAR Japan[難民を助ける会]プログラム・マネージャー)
ラガド・アドリー(同支援事業部プログラム・コーディネーター)
柳田純子(同支援事業部主任)

共催:AAR Japan[難民を助ける会]
会場:展示室(オラファー・エリアソン展示室)
参加人数:11人,17人

●「難民が地域で暮らすということ」

日時:9月9日(土) 13:00~17:30
講師:吉山 昌(認定NPO法人 難民支援協会
会ディレクター・事務局長)
共催:認定NPO法人 難民支援協会
会場:展示室(オラファー・エリアソン展示室)
参加人数:15人

●「若者たちのライフストーリー:〈移民〉から〈わたし〉へ」

日時:9月10日(日) 13:00~17:30
講師:アビナッシュ・ガレ(Web・映像クリ
エーター/一般社団法人kuriyaユ
ースメンバー)
通訳:海老原周子(一般社団法人kuriya代表)
共催:一般社団法人kuriya
会場:展示室(オラファー・エリアソン展示室)
参加人数:18人

●「難民? 避難民?」

日時:10月9日(月祝) 13:00~17:30
講師:川延安直(福島県立博物館専門学芸員)
小林めぐみ(同主任学芸員)
吉田邦吉(ヴェルガリスト・フクシマ
編集長)
穂積武寛(AAR Japan[難民を助ける会]プログラム・マネージャー)
協力:福島県立博物館,AAR Japan[難民を助ける会]
会場:展示室(オラファー・エリアソン展示室)
参加人数:16人

アーティスト・ワークショップ

●「遠くを近くに、近くを遠くに、感じるための幾つかのレッスン」

日時:10月14日(土)・15日(日)
11:00~17:00
講師:高山 明/Port B
会場:展示室(オラファー・エリアソン展示室)
参加人数:約60人,50人

●「理想の都市をコラージュする」

日時:10月22日(日) 13:30~16:00
講師:北澤 潤
会場:展示室(オラファー・エリアソン展示室)
参加人数:8人

●「1秒の光で世界をつくる」

日時:10月29日(日) 13:30~17:30
講師:SHIMURAbros
会場:展示室(オラファー・エリアソン展示室)
参加人数:17人

鑑賞サポート

グリーンライト寄付募集展示

期間：11月6日(月)～2月28日(水)

内容：グリーンライトランプの特典がつく寄付募集活動のためのカフェでの紹介展示。

会場：Café小倉山

◎ヨコハマプログラム

水族館劇場「もうひとつの この世のような夢 一寿町最終未完成版」

日時：9月1日(金)～5日(火)

13日(水)～17日(日)

各日18:30～20:30

会場：寿町総合労働福祉会館再整備事業用地

主催：水族館劇場、横浜トリエンナーレ組織委員会、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

参加費：前売券4,500円、電話予約4,700円、当日券4,800円

参加人数：130人,187人,160人,143人,181人,187人,187人,160人,187人,187人

◎アレックス・ハートリー

《どこでもない国大使館》

実施日：8月3日(木)・4日(金)、

会期中(各土・日・祝)

参加人数：2,461人

◎映像プログラム

ヨコハマスクリーニング

会場：レクチャーホール

ヨコハマトリエンナーレ2017のテーマや出品作家に関連する劇映画、ドキュメンタリー、アニメーション、実験映画を上映。

9月16日(土)

13:30 ロバート・フラハティ《極北のナヌーク》

15:30 ジャンフランコ・ロージ《海は燃えているーイタリア最南端の小さな島》

参加人数：67人

9月17日(日)

13:30 ダニエル・コックバーン《あなたはここにいる》

15:30 作家特集①
 畠山容平《未来をなぞる 写真家・畠山直哉》

参加人数：75人

10月7日(土)

13:30 短編特集①
 チャールズ&レイ・イームズ《パワーズ・オブ・テン》

手塚治虫《ジャンピング》

加藤久仁生《つみきのいえ》

ジェレミー・クラバン《Skhizein(ス

キゼン)》

山村浩二《年をとった鰐》

エドムンズ・ヤンソンス《アザラシの島》

15:30 短編特集②

ノーマン・マクラレン《隣人》

ヤン・シュヴァンクマイエル《対話の可能性》

ドン・ハーツフェルト《人生の意味》

岩崎宏俊《Between Showers》

カタリーナ・ティジーラー《アアア》

ジェシー・マククリーン《犬を見れば、声が聞こえる》

参加人数：125人

10月8日(日)

13:30 作家特集②

ヘンリック・ルンテ、ヤコブ・イェルゲンセン《オラファー・エリアソン 視覚と知覚》

15:30

作家特集③

アリソン・クレイマン《アイ・ウェイウェイは謝らない》

参加人数：205人

◎ヨコトリ2017協賛企業向け特別ガイドツアー

日時：9月20日(水) 15:00～15:50

対象参加者：富士通エフサス株式会社

参加人数：15人

日時：9月30日(土) 13:00～13:50

対象参加者：スターツコーポレーション株式会社

参加人数：20人

日時：10月3日(火) 14:00～14:50、

15:00～15:50(全2回)

対象参加者：森ビル株式会社

参加人数：14人

◎シンポジウム「ひらいて・つなげる 横浜トリエンナーレ」

日時：2月24日(土) 13:30～16:30

会場：円形フォーラム

登壇者：小川 希(Art Center Ongoing 代表)

野原 卓(横浜国立大学大学院都市イ

ノベーション研究院准教授)

帆足亜紀

上野正也(神奈川大学工学部建築学

科特別助教)

参加費：無料

主催：横浜トリエンナーレ組織委員会

横浜トリエンナーレサポーター事務局

参加人数：38人



石内都展 アーティストトーク



石内都展 学芸員によるギャラリートーク



石内都展 石内都によるギャラリートーク



コレクション展 菅 木志雄 アクティヴェイション



コレクション展 学芸員によるレクチャー



谷保玲奈展 アーティストトーク

コレクション展

◎2017年3月25日(土)～6月25日(土)

ギャラリートーク

日時:(各金曜)4月28日,5月12日・26日,
6月9日・23日 14:00～14:30
担当:八柳サエ,端山聡子,関 淳一,河上祐子,
山崎 優
会場:コレクション展展示室
参加人数:25人,22人・19人,21人・23人

特別支援学校の創作・鑑賞ワークショップ

本郷特別支援学校
日時:4月28日(金) 10:20～12:30
担当:端山聡子,河上祐子,大岩久美,関 淳一
会場:企画展展示室,コレクション展展示室
参加人数:36人

教師のための鑑賞会

横浜美術館コレクションと学校をつなぐ鑑賞会①

日時:5月13日(土) 10:30～11:30
担当:端山聡子,河上祐子
会場:企画展展示室,コレクション展展示室
参加人数:15人

菅 木志雄 アクティヴェーション

日時:5月21日(日) 14:30～15:30
出演:菅 木志雄(アーティスト)
担当:八柳サエ,片多祐子,大澤紗蓉子,
日比野民蓉
会場:グランドギャラリー
参加人数:190人

◎2017年12月9日(土)～2018年3月4日(日)

教師のための鑑賞会

横浜美術館コレクションと学校をつなぐ鑑賞会③

日時:12月16日(土) 10:30～11:30
担当:端山聡子,河上祐子
会場:コレクション展展示室
参加人数:7人

ギャラリートーク

日時:(各金曜)12月22日,1月12日・26日,
2月9日・23日 14:00～14:30
担当:坂本恭子,端山聡子,木下貴博,関 淳一,
河上祐子
会場:コレクション展展示室
参加人数:31人,26人・22人,21人・23人

学芸員によるレクチャー「シュールな美術のたのしみ方」

日時:2月11日(日祝) 14:00～15:45
担当:中村尚明,坂本恭子
会場:円形フォーラム
参加人数:70人

特別支援学校のための鑑賞前の事前レクチャー

神奈川県立瀬谷養護学校高等部
日時:1月26日(金) 10:15～10:45
会場:コレクション展展示室
参加人数:13人

New Artist Picks

◎谷保玲奈展

アーティストトーク

日時:3月18日(日) 16:30～17:30
出演:谷保玲奈(出品作家)
聞き手:柏木智雄,坂本恭子
会場:アートギャラリー2および1
参加人数:65人

子ども鑑賞サポート

◎個人向け鑑賞講座

わくわく[®]1日鑑賞講座

親子講座 **いとじゅんさんとファッションショー!**
*教育普及事業 子どものアトリエ 個人の造形講座 参照(P.35)

わくわく日曜鑑賞講座

親子講座 横浜美術館鑑賞クラブ「美術ってなんじゃもんじゃ?」

*教育普及事業 鑑賞サポート 企画展「ヨコトリ2017」参照(P.26)

◎子どものための展覧会

熊田千佳慕 虫や花のことば
期間:4月9日(日)-3月25日(日)
会場:子どものアトリエ内ギャラリー

学校教育連携事業

横浜美術館コレクションを活用した授業のための中学校・美術館合同研究会

日時:

[ガイダンス]

5月27日(土) 14:00~16:30

[素案検討・グループ協議]

6月24日(土) 14:00~16:30

[本案発表・検討]

12月9日(土) 14:00~17:00

担当: 端山聡子, 河上祐子, 大岩久美

会場: 8階

参加人数: 7人, 11人, 19人

*7月29日(土), 8月16日(水)・17日(木), 9月24日(日), 10月1日(日)・28日(土), 1月20日(土) にグループワークを実施

参加人数: 3人, 4人・3人, 3人, 2人・2人, 3人
ウェブガイドダウンロード公開 3月15日(木)
[授業案]

- 1 魔術の「黒」をみつめて〜奥深い「黒」の魅力にせまる
題材作品: 長谷川潔作《草花とアカリヨム》
- 2 妄想いけばな〜いにしへの器にパッチャルいけばなを〜
題材作品: 小茂田青樹作《ボンボンダリア》
- 3 発見! 謎の物体X
題材作品: クレス・オルデンバーグ作《反転Q》
- 4 (1) ○○中新聞特派員現地緊急取材報告
〜私は見た、ペリー提督が黒船から上陸した瞬間を!!〜
(2) 欧米諸国における「近代化」と新しい価値観のもとでの国づくり(社会科)
題材作品: 伝ペーター・B.W. ハイネ作《ペルリ提督横浜上陸の図》

「横浜美術館コレクションを活用した授業のための中学校・美術館合同研究会」の公開授業

日時: 1月31日(水)

会場: 横浜市立本郷中学校

日時: 1月31日(水)-2月5日(月)

会場: 横浜市立泉が丘中学校

**横浜市芸術文化教育プラットフォーム
美術分野等の芸術家による鑑賞型事業**

担当: 端山聡子, 河上祐子, 大岩久美

・横浜市立日限山中学校

日時: 6月23日(金) 124人

・横浜市立小田中学校

日時: 6月27日(火)・29日(木) 40人, 79人

・横浜市立本郷中学校

日時: 7月3日(月) 155人

・横浜市立荻が谷中学校

日時: 7月5日(水) 99人

**横浜市中学校教育研究会美術科部会研修
美術科部会研修**

日時: 9月27日(水) 17人

横浜市立小学校教育研究会美術科部会研修

日時: 10月25日(水) 16人

国立音楽大学博物館課程授業

日時: 8月29日(火) 9人

子どものアトリエ

●教師のためのワークショップ

日時: 夏期講座7月29日(土)・30日(日)

春期講座3月24日(土)・25日(日)

10:00~16:00

担当: 山崎 優, 岡崎智美, 高徳早矢香

会場: 子どものアトリエ

参加費: (夏期) 1日6,000円、両日11,000円
(春期) 各日1日6,000円

参加人数: 86人・78人, 64人・61人

●保育士・教師を対象とした研修等

受入件数: 7件

参加人数: 441人

受入団体: 神奈川県教育委員会

公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会

横浜市小学校図画工作研究会

横浜市磯子区保育士会

横浜市特別支援学校教育研究会

横浜市児童相談所

公益財団法人海外日系人協会

その他研修等

受入件数: 5件

参加人数: 360人

受入団体: 横浜市小学校図工研究会総会

横浜市中学校教育研究会美術科部会(2件)

横浜市各区図工研究会合同研修会

横浜市中学校美術研究会

子どものアトリエ

学校のためのプログラム

造形プログラム(90校) [幼稚園・保育園35園/小学校35校/特別支援・各種学校20校]

時間:10:00~14:00

会場:子どものアトリエ

担当:山崎 優, 岡崎智美, 高德早矢香

年間参加者数:6,333人

4月18日(火)	横浜朝鮮初級学校・附属幼稚園	81人	10月17日(火)	相沢小学校	65人
4月19日(水)	ポピンズナーサリースクールみなとみらい	31人	10月18日(水)	久良岐保育園	30人
4月21日(金)	千秀小学校	78人	10月20日(金)	神奈川区個別支援学級合同	84人
4月25日(火)	天使幼稚園	51人	10月24日(火)	美し野幼稚園	80人
4月26日(水)	桜台小学校	157人	10月25日(水)	東保野特別支援学校	20人
4月28日(金)	鶴見朝鮮初級学校 幼稚園	22人	10月27日(金)	長津田第二小学校	98人
5月9日(火)	金剛保育園	27人	10月31日(火)	SUNはるかぜ保育園	37人
5月10日(水)	つづきの丘小学校	69人	11月1日(水)	中区個別支援学級合同	72人
5月12日(金)	県立三ツ境養護学校	20人	11月7日(火)	駒林小学校	92人
5月16日(火)	磯子小学校	100人	11月8日(水)	東戸塚こども園	47人
5月17日(水)	つくしんぼ保育園	21人	11月10日(金)	岩崎小学校	52人
5月19日(金)	桜岡小学校	110人	11月14日(火)	汐見台小学校	131人
5月23日(火)	小学館アカデミーかみながや保育園	23人	11月15日(水)	YMCAいずみ保育園	29人
5月24日(水)	瀬谷さくら小学校	143人	11月17日(金)	磯子区個別支援学級合同	95人
5月26日(金)	YMCA山手台保育園アルク	25人	11月20日(月)	神奈川小学校	71人
5月30日(火)	折本小学校	141人	11月21日(火)	立正幼稚園	76人
5月31日(水)	港南台ひの特別支援学校	37人	11月28日(火)	中尾小学校	50人
6月6日(火)	長津田こども園	14人	11月29日(水)	わおわおセンター北保育園・わおわおセンター 仲町台保育園 合同	45人
6月7日(水)	上寺尾小学校	116人	12月1日(金)	青葉区個別支援学級合同	80人
6月9日(金)	青葉幼稚園	53人	12月4日(月)	浜小学校	85人
6月13日(火)	港南台第一小学校	108人	12月5日(火)	みなみマーノ保育園	25人
6月14日(水)	港南区個別支援学級合同	98人	12月8日(金)	洋光台幼稚園	33人
6月16日(金)	入船の森保育園	18人	12月12日(火)	川和小学校	63人
6月20日(火)	浦島小学校	77人	12月13日(水)	金沢区個別支援学級合同	97人
6月21日(水)	花園保育園ベビーホーム	56人	1月16日(火)	飯島幼稚園	116人
6月23日(金)	平戸台小学校	40人	1月17日(水)	横浜中華学院	50人
6月27日(火)	南愛児園	51人	1月19日(金)	矢部小学校	99人
6月28日(水)	つつじが丘小学校	89人	1月23日(火)	中沢小学校	146人
6月30日(金)	戸塚区個別支援学級合同	97人	1月24日(水)	野毛山幼稚園	47人
7月4日(火)	桑の実鶴見保育園	35人	1月26日(金)	上菅田特別支援学校	29人
7月5日(水)	都筑区個別支援学級合同	100人	1月30日(火)	新大船幼稚園	46人
7月7日(金)	新鶴見小学校	185人	1月31日(水)	本町小学校	164人
7月11日(火)	さつきが丘小学校	100人	2月2日(金)	泉区個別支援学級合同	27人
7月12日(水)	あさひが丘幼稚園	71人	2月6日(火)	YMCAマナ保育園	29人
9月12日(火)	洋光台第二小学校	89人	2月7日(水)	大岡小学校	103人
9月13日(水)	二本榎幼稚園	32人	2月9日(金)	ペガサス新横浜・夜間保育園	23人
9月15日(金)	旭区個別支援学級合同	100人	2月13日(火)	大正小学校	82人
9月19日(火)	白百合愛児園	52人	2月14日(水)	明德釜利谷保育園	25人
9月20日(水)	盲特別支援学校	47人	2月16日(金)	二つ橋小学校	83人
9月22日(金)	あけぼの幼稚園	104人	2月20日(火)	東小学校	91人
9月26日(火)	戸部小学校	61人	2月21日(水)	港北区個別支援学級合同	103人
9月27日(水)	東洋英和女学院大学附属かえて幼稚園	48人	2月23日(金)	かもめ幼稚園	38人
9月29日(金)	常盤台小学校	127人	2月27日(火)	アソカ幼稚園	78人
10月10日(火)	県立鶴見養護学校	12人	2月28日(水)	下末吉小学校	60人
10月11日(水)	いぶき野小学校	142人			
10月13日(金)	勝田保育園	79人			

子どものアトリエ

親子のフリーゾーン

日時：原則日曜 10:00～11:30

会場：子どものアトリエ

対象：小学生以下のお子さんとその保護者

参加費：小学生以下無料，保護者および中学生以上100円

年間参加者数：17,265人

4月9日(日)	464人	10月8日(日)	360人
4月16日(日)	437人	10月15日(日)	396人
4月23日(日)	462人	10月22日(日)	340人
5月7日(日)	516人	11月5日(日)	435人
5月14日(日)	484人	11月12日(日)	422人
5月21日(日)	512人	11月19日(日)	521人
6月4日(日)	494人	11月26日(日)	500人
6月11日(日)	536人	12月3日(日)	470人
6月18日(日)	498人	12月10日(日)	489人
7月2日(日)	557人	1月7日(日)	555人
7月9日(日)	525人	1月14日(日)	487人
7月16日(日)	531人	1月21日(日)	404人
8月6日(日)	518人	2月4日(日)	464人
8月20日(日)	516人	2月11日(日)	517人
8月27日(日)	464人	2月18日(日)	551人
9月10日(日)	506人	3月4日(日)	521人
9月17日(日)	380人	3月11日(日)	495人
9月24日(日)	447人	3月18日(日)	491人



親子のフリーゾーン



花器をつくろう



紙工作に挑戦



親子講座「えのくでくちやくちや」



油絵クラブ



日本画クラブ

募集リーフレット

横浜美術館 子どものアトリエプログラム『ピコラガイド』『親子のフリーゾーンガイド』の発行



個人の造形講座

会場：子どものアトリエ

担当：山崎 優, 岡崎智美, 高德早矢香

年間参加者数：1,341人

【造形プログラム】

◎わくわく日曜造形講座

4月 ガラスアート

日時：[3回] 4月9日・16日・23日

14:00～16:00

参加費：5,000円

対象：小学校4・5・6年生

参加人数：25人

5月 えのぐであそぼう

日時：[3回] 5月7日・14日・21日

14:00～16:00

参加費：4,000円

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：24人

6月 ペーパーアート

日時：[3回] 6月4日・11日・18日

14:00～16:00

参加費：4,000円

対象：幼稚園・保育園の年長児

参加人数：22人

7月 花器をつくろう

日時：[3回] 7月2日・9日・16日

14:00～16:00

参加費：5,500円

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：20人

10月 透けるえのぐでかこう

日時：[3回] 10月8日・15日・22日

14:00～16:00

参加費：4,500円

対象：幼稚園・保育園の年長児

参加人数：21人

11月 紙工作に挑戦

日時：[3回] 11月5日・12日・19日

14:00～16:00

参加費：4,500円

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：22人

12月 クリスマス飾りをつくろう

日時：[3回] 11月26日, 12月3日・10日

14:00～16:00

参加費：4,500円

対象：幼稚園・保育園の年長児

参加人数：20人

1月 多色版画に挑戦

日時：[3回] 1月7日・14日・21日

14:00～16:00

参加費：4,500円

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：23人

2月 親子講座「親子アートクラブ」

日時：[3回] 2月4日・11日・18日

14:00～16:00

参加費：親子2名で5,000円

(1人追加で+1,500円)

対象：幼稚園・保育園の年長児と保護者

参加人数：55人

3月 見て描こう

日時：[3回] 3月4日・11日・18日

14:00～16:00

参加費：4,000円

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：23人

◎夏休み造形講座

木で車をつくろう

日時：[3回] 7月31日(月), 8月1日(火)・2日(水)

10:00～12:00

参加費：4,500円

対象：幼稚園・保育園の年長児

参加人数：21人

ぬいぐるみアート

日時：[3回] 8月7日(月)・8日(火)・9日(水)

10:00～12:00

参加費：4,500円

対象：小学校1・2・3年生

参加人数：21人

ジオラマアート

日時：[3回] 8月21日(月)・22日(火)・23日(水)

10:00～12:00

参加費：4,500円

対象：小学校4・5・6年生

参加人数：20人

◎わくわく1日造形講座

親子講座「ぐちゃぐちゃお絵かき」

日時：4月29日(土祝) 10:00～12:00

参加費：親子2名で2,000円

(1人追加で+500円)

対象：幼稚園・保育園の年長児と保護者

参加人数：58人

◎わくわく1日鑑賞講座

親子講座「いとじゅんさんとファッションショー！」

(「ファッション展」関連プログラム)

日時：5月5日(金祝) 10:30～15:00

講師：伊東純子(アーティスト)

参加費：親子2名で2,000円

(1人追加で+500円)

対象：小学校1～6年生と保護者

会場：企画展展示室, グランドギャラリー

参加人数：44人

親子講座「発泡スチロールアート」

日時：9月23日(土祝) 10:00～15:00

参加費：親子2名で2,500円

(1人追加で+500円)

対象：小学校1～6年生と保護者

参加人数：42人

◎長期日曜造形講座

油絵クラブ

日時：5月7日・14日・21日,

6月4日・11日・18日

14:00～16:30

参加費：10,000円

対象：小学校4・5・6年生

参加人数：18人

日本画クラブ

日時：11月5日・12日・19日・26日,

12月3日・10日

14:00～16:30

参加費：10,000円

対象：小学校4・5・6年生

参加人数：20人

市民のアトリエ

ワークショップ

◎アートとふれあう

小さなブロンズ作品づくり

日時:[4回]各14:00~16:00

Aコース (各日曜)

4月16日・23日・30日,5月7日

Bコース (各日曜)7月9日・16日・23日・30日

Cコース (各日曜)

9月10日・17日・24日,10月1日

Dコース (各火曜)

10月10日・17日・24日・31日

Eコース (各土曜)

12月16日・23日,1月13日・20日

Fコース (各土曜)2月3日・10日・17日・24日

講師:小林且典(彫刻家),木下貴博

参加費:各9,000円

参加人数:A8人,B8人,C8人,D8人,E8人,

F8人

版画基礎コース

担当:櫻庭瑠実

日時:(各土曜)[6回]*Cコースのみ4回

各10:10~12:40

Aコース 5月13日・20日・27日,

6月3日・10日・17日

Bコース 6月24日,

7月1日・8日・15日・22日・29日

Cコース 9月2日・9日・16日・23日

Dコース 9月30日,10月7日・14日・21日・

28日,11月4日

Eコース 11月11日・18日・25日,

12月2日・9日・16日

Fコース 1月6日・13日・20日・27日,

2月3日・10日

Gコース 2月17日・24日,

3月3日・10日・17日・24日

インストラクター:

安井春菜(銅版画)

長田奈緒(シルクスクリーン)

吉田ゆう(リトグラフ)

インストラクター(代行):

数見亮平(シルクスクリーン)

森田奏美(リトグラフ)

参加費:各16,000円

*Cコースのみ10,000円

参加人数:A17人,B17人,C17人,D17人,

E17人,F17人,G17人

木彫と彩色「静かな光、いとしいもの」

担当:木下貴博

日時:(各土曜)[12回]各14:00~16:30

5月13日-7月29日

講師:森 栄二(彫刻家)

参加費:32,000円

参加人数:10人

初めての絵画教室

担当:柳川文秀

日時:(各土曜)[5回]各14:00~16:30

Aコース 5月20日・27日,6月3日・10日・17日

Bコース 9月30日,10月7日・14日・21日・28日

講師:柳川文秀

参加費:各14,000円

参加人数:A13人,B11人

西洋の古典技法講座「羊皮紙に描く装飾デザイン」

担当:柳川文秀

日時:(各土曜)[3回]各13:30~16:30

6月24日,7月1日・8日

講師:上野淑美(絵画修復士)

参加費:16,500円

参加人数:15人

ステップアップ透明水彩

担当:柳川文秀

日時:(各金曜)[2回]各10:30~16:00

6月30日,7月7日

講師:野澤奈穂子(画家)

参加費:14,000円

参加人数:16人

紙から作る!銅版画

担当:櫻庭瑠実

日時:(各日曜)[4回]各13:00~16:00

10月22日・29日,11月19日,12月3日

講師:馬場知子(版画家)

参加費:16,000円

参加人数:12人

おもしろい彫刻「生物+ナニカ」

担当:木下貴博

日時:(各日曜)各14:00~16:00

A.テラコッタ[3回]

11月19日・26日,12月24日

講師:櫻井かえで(彫刻家)

参加費:5,000円

参加人数:15人

B.木彫[8回]

1月21日・28日,2月4日・11日・18日・25日,

3月4日・11日

講師:櫻井かえで(彫刻家)

参加費:18,000円

参加人数:10人

初めての絵画教室 パステルで描いてみよう!

担当:柳川文秀

日時:(各土曜)[2回]各13:30~16:30

11月25日,12月2日

講師:椿 暁子(画家)

参加費:9,000円

参加人数:15人



版画基礎コース



木彫と彩色「静かな光、いとしいもの」



西洋の古典技法講座「羊皮紙に描く装飾デザイン」



紙からつくる!銅版画



おもしろい彫刻「生物+ナニカ」テラコッタ



初めての絵画教室 パステルで描いてみよう



1日体験フォトグラム



横浜みどりアップ・ワークショップ



「ファッション展」関連企画 日本刺繍の魅力



「ヨコトリ2017」畠山直哉・写真ワークショップ



「ヨコトリ2017」木下晋・鉛筆画ワークショップ



オープンスタジオ立休室 テラコッタ

ステップアップ パステル画

担当：柳川文秀
 日時：(各金曜) [3回] 各13:30~16:30
 2月23日, 3月2日・9日
 講師：椿 暁子(画家)
 参加費：14,000円
 参加人数：15人

1日体験「フォトグラム」

担当：櫻庭瑠実
 アシスタント：吉田ゆう
 日時：[1回] 2月25日(日) 10:30~16:00
 講師：櫻庭瑠実
 参加費：3,500円
 参加人数：12人

◎平成29年度

横浜みどりアップ・ワークショップ

横浜の森「木製ハンドジュースづくり」
 担当：木下貴博
 日時：(各日曜) [2回] 各13:30~15:30
 5月14日, 6月11日
 講師：宮崎喜一(ART&LIFE自然学校代表)
 会場：5月14日=環境活動支援センター(保土ヶ谷区)
 6月11日=市民のアトリエ
 参加費：無料
 参加人数：13人, 17人

横浜の森「コキアのホウキづくり」

担当：木下貴博
 日時：(各日曜) [2回] 各13:30~15:30
 10月15日, 11月5日
 講師：宮崎喜一(ART&LIFE自然学校代表)
 名川敬子(ソダテルLABO)
 会場：10月15日=環境活動支援センター(保土ヶ谷区)
 11月5日=市民のアトリエ
 参加費：無料
 参加人数：19人, 22人

◎展覧会関連ワークショップ

「ファッション展」関連企画

日本刺繍の魅力 鑑賞と創作体験
 担当：木下貴博
 日時：5月21日(日) 13:00~16:00
 講師：岡田宣世(女子美術大学名誉教授/客員教授)
 参加費：2,500円
 参加人数：16人

「ヨコトリ2017」関連企画

●優美なコラボレーション(鑑賞と体験)
 日時：8月27日(日) 13:30~16:30
 担当：木下貴博, 金井真悠子
 講師：学芸員, 市民のアトリエエディター
 参加費：2,500円
 会場：展示室, 市民のアトリエ
 参加人数：13人

●畠山直哉・写真ワークショップ

— Printmaking with Light 光でつくる版画
 担当：櫻庭瑠実, 関 淳一
 日時：9月18日(月祝) 10:30~17:00
 講師：畠山直哉(写真家/ヨコハマトリエンナーレ2017 参加アーティスト)
 アシスタント：大塚敬太
 参加費：4,000円
 参加人数：12人

●木下晋・鉛筆画ワークショップ

担当：柳川文秀
 日時：10月8日(日) 10:30~15:30
 講師：木下 晋(画家/ヨコハマトリエンナーレ2017 参加アーティスト)
 参加費：3,500円
 参加人数：15人

市民のアトリエ

オープンスタジオ

◎オープンスタジオ立体室

担当：木下貴博
会場：市民のアトリエ立体室

木の作品

日時：各13:30～16:00
各10:30～13:30(オプション)
Aコース (各水曜) [10回] 4月26日-7月5日
(5月3日は休み)
Bコース (各火曜) [10回] 7月11日-9月19日
(8月15日は休み)
Cコース (各土曜) [10回] 9月9日-11月18日
(9月23日は休み)
Dコース (各水曜) [6回] 11月22日-1月10日
(12月27日, 1月3日は休み)
Eコース (各火曜) [6回] 12月26日-2月6日
(1月2日は休み)
Fコース (各火曜) [6回] 2月13日-3月20日
参加費：A-C各15,000円, D-F各9,000円
オプション500円
参加人数：A12人, B12人, C12人, D12人,
E12人, F12人
オプション参加人数：256人

テラコッタ

日時：[6回] 各13:30～16:00
各10:30～13:30(オプション)
Aコース (各月曜) 5月1日・15日・22日・29日,
6月5日, 7月3日
Bコース (各月曜) 7月10日・17日・24日・31日,
8月7日, 9月4日
Cコース (各水曜) 9月13日・20日・27日,
10月4日・11日, 11月15日
Dコース (各月曜) 12月11日・18日・25日,
1月8日・15日, 2月12日
Eコース (各水曜) 1月31日, 2月7日・14日・
21日・28日, 3月21日
参加費：各9,000円 オプション500円
参加人数：A12人, B12人, C12人, D12人,
E12
オプション参加人数：195人

◎オープンスタジオ平面室

担当：柳川文秀
会場：市民のアトリエ平面室

人体クロッキー(ヌード)

日時：各14:00～16:30
Aコース (各水曜) [6回] 5月10日-6月14日
Bコース (各火曜) [6回] 5月23日-6月27日
Cコース (各水曜) [6回] 7月5日-8月9日
Dコース (各金曜) [6回] 9月15日-10月20日
Eコース (各水曜) [6回] 9月20日-10月25日
Fコース (各水曜) [6回] 11月8日-12月13日
Gコース (各火曜) [6回] 11月14日-12月19日
Hコース (各水曜) [8回] 1月10日-2月28日
Iコース (各火曜) [8回] 1月23日-3月13日
参加費：A-G各8,400円, H・I各11,200円
参加人数：A20人, B20人, C20人, D20人,
E20人, F20人, G20人, H19人,
I20人

人体を描く

日時：[4回] 各14:00～16:30
Aコース(着衣) (各金曜) 5月12日-6月2日
Bコース(ヌード) (各土曜) 7月15日-8月5日
Cコース(着衣) (各火曜) 7月18日-8月8日
Dコース(着衣) (各金曜) 11月10日-12月8日
Eコース(ヌード) (各金曜) 1月12日-2月9日
Fコース(着衣) (各土曜) 2月17日-3月17日
参加費：各6,000円
参加人数：A18人, B18人, C18人, D18人,
E18人, F18人

◎オープンスタジオ版画室

担当：櫻庭瑠実
会場：市民のアトリエ版画室

日時：
第1期 5月9日-7月29日(水・土)
5月9日・23日, 6月6日・20日,
7月4日・18日(火)
第2期 8月30日-10月31日(水・土)
9月5日・19日, 10月3日・17日・31日(火)
第3期 11月1日-12月20日(水・土)
11月7日・21日, 12月5日・19日(火)
第4期 1月6日-3月24日(水・土)
1月9日・23日, 2月6日・20日,
3月6日・20日(火)
(水) 10:10～16:30
(火・土) 14:00～16:30
(暗室使用はすべて14:00～16:30)
インストラクター：
安井香菜(銅版画)
長田奈緒(シルクスクリーン)
吉田ゆう(リトグラフ)
インストラクター(代行)：
数見亮平(シルクスクリーン)
森田奏美(リトグラフ)
参加費：(水) 利用 2,200円
(火・土) 利用 1,600円
暗室 1,600円
参加人数：第1期534人, 第2期406人
第3期318人, 第4期502人

募集リーフレット

横浜美術館 市民のアトリエプログラム『ワークショップガイド』の発行



市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業

市民協働



ボランティア活動風景(親子のフリーゾーン)



ボランティア活動風景(親子のフリーゾーン)



ボランティア活動風景(ヨコハマ)



ボランティア活動風景(ヨコハマ・アート・マップ)



ボランティア活動風景(勉強会)



ボランティア活動風景(描かれた物語)

横浜市、学校、福祉関係機関、市民団体、ボランティア団体、NPO法人、企業などと協働し、美術館教育普及事業の活動を社会に広げます。特に、既存の市民団体、ボランティア団体の活動などとリンクさせることで、美術館の活動への支援を広げるよう努めています。また、横浜美術館コレクション・フレンズというユニークな個人参加型の芸術支援プログラムを通じ、参加者に横浜美術館コレクションを通して、より深く美術と親しむための特別プログラムを提供しています。

ボランティア

子どものアトリエ

親子のフリーゾーンボランティア

活動期間: 4月1日(土)-3月31日(土)

登録人数: 31人

参加人数: 延べ340人

美術情報センター1日ボランティア

活動期間: 3月7日(水)

登録人数: 9人

参加人数: 延べ9人

教育プロジェクトボランティア

活動期間: 4月1日(土)-3月31日(土)

※5～10月は休止(ヨコトリサポーターとして活動のため)

登録人数: 65人

参加人数: 延べ491人

主な活動内容

- ・研究会・勉強会 11回
- ・ヨコハマ・アートマップ 3回
- ・描かれた物語 3回
- ・中高生プログラムサポート 11回
- ・若者支援プログラムサポート 2回
- ・特別支援学校プログラムサポート 2回

ヨコトリトーカー

活動期間: 4月1日(土)-3月31日(土)

登録人数: 107人(うち教育プロジェクトボランティア42人)

参加人数: 延べ3,265人

作家ワークショップボランティア

グリーンライトワークショップ

活動期間: 8月7日(月)-11月5日(日)

実施日数: 24日

参加人数: 延べ106人

ビジターサービスボランティア

活動期間: 4月1日(土)-3月31日(土)

登録人数: 14人

参加人数: 延べ296人

フラットなコミュニケーション

NPO法人横濱ジェントルタウン倶楽部と連携したユニバーサルサービス研修

日時: 3月9日(金)・10日(土)

原三溪生誕150年に向けた原三溪市民研究会との共同研究

定例会原則月1回、第2土曜日

「箱根・小田原スタディ・ツアー」

開催日: 4月8日(土)

参加人数: 21人

第2回本牧まち歩きツアー「本牧の外国人遊歩道」

開催日: 9月9日(土)

参加人数: 24人

原三溪市民研究会第4回シンポジウム

「三溪園と本牧のまちづくり ―そのヒントを探る―」

日時: 11月11日(土) 13:30~16:30

パネリスト:

内海 孝(東京外国語大学名誉教授)

吉川利一(三溪園事業課長)

當麻洋一(本牧神社宮司)

鬼木和浩(横浜市文化観光局文化振興課施設担当課長)

コーディネーター:

猿渡紀代子(原三溪市民研究会顧問)

共催: 原三溪市民研究会/横浜美術館/三溪園

助成: 公益信託ヨコハマ中区まちづくり本牧基金

会場: 円形フォーラム

参加人数: 61人

横浜美術館コレクション・フレンズ

12,000点を超える横浜美術館コレクションの継続的な修復や維持を目的として、平成22年にスタートした個人参加型の芸術支援プログラムです。参加者には、横浜美術館コレクションを通して、より深く美術と親しむための特別プログラムを提供しています。「横浜の宝」ともいえるコレクションをより良い状態で未来へ引き継いでいくための取組みは、これからますますの発展が期待されています。

参加費:一口10,000円 **参加人数:**174名(205口)

平成29年度の対象作品7点

- ・小茂田青樹(1891-1933)
《ポンボンダリヤ》
- ・岡田謙三(1902-1982)
《思い出》
- ・カーティス・ブロック(1961年生まれ)
《水晶》
- ・ハーヴェイ・R・マークス(1821-1902)
《栄力丸船員 亀蔵(COMMETHO)》
- ・オットー・ディックス(1891-1969)
《仔牛の頭部のある静物》
- ・オシップ・ザツキン(1890-1967)
《オルフェウス》
- ・石内 都(1947年生まれ)
《絶唱、横須賀ストーリー》

交流会(年2回開催)

日時:9月9日(土) 14:30~16:30
2月24日(土) 14:30~16:30
講師:木村絵理子, 大澤紗蓉子
会場:レクチャーホール,
ロティスリー・ティーズ・レイ
参加人数:82人,80人

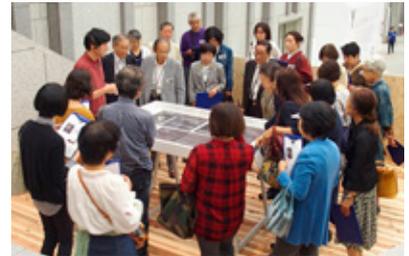
ギャラリートーク(年4回、8日開催)

日時:①5月10日(水)・13日(土)
②6月10日(土)・14日(水)
③9月30日(土)・10月4日(水)
④1月17日(水)・20日(土)
各11:00~12:00
講師:片多祐子, 日比野民蓉, 松永真太郎,
中村尚明, 大澤紗蓉子
会場:円形フォーラム, コレクション展示室
参加人数:26人・37人, 22人・25人, 20人・25人,
24人・19人

**横浜美術館『コレクションフレンズ2017』
募集パンフレットの発行**



フレンズ交流会



フレンズギャラリートーク



アウトリーチ(神奈川県立こども医療センター)



若者支援プログラム



石内都展 鑑賞とワークショップ



老人ホーム訪問ワークショップ

地域社会や市民生活に貢献する事業

美術館における教育普及事業を、地域社会や市民生活に貢献する事業に発展させていきます。学校教育連携事業、アウトリーチ、人材育成事業、環境啓発事業等を行っています。

アウトリーチ事業等

アウトリーチ

日時:7月18日(火),9月6日(水),10月5日(木)・30日(月),11月24日(金)

担当:山崎 優,岡崎智美,高徳早矢香

会場:横浜医療福祉センター港南,横浜市立大学付属病院小児科病棟,神奈川県立子ども医療センター*,みつばち保育園*,白幡フレール保育園*

参加人数:45人,20人,36人,43人,47人

*外部と連携した事業 Heart to Art(P.54)による開催

Heart to Art《よこしん》親子でエコ教室共催

Heart to Art《NTTテクノクロス株式会社》ファミリーデー

*外部と連携した事業 Heart to Art 参照(P.54)

若者支援プログラム

「ヨコトリ鑑賞会事前勉強会・関連ワークショップ」

日時:9月29日(金) 13:00~15:00

担当:端山聡子,大岩久美,河上祐子,関 淳一

会場:K2インターナショナルよこはま南ユースプラザ

参加人数:10人

「ヨコハマトリエンナーレ2017」鑑賞会

日時:10月3日(火) 11:00~16:00

担当:端山聡子,大岩久美,河上祐子,関 淳一

会場:横浜赤レンガ倉庫1号館,横浜美術館

参加人数:27人

金沢区青少年の地域活動拠点とのプログラム

「第2回カナカツ秋の美術展」

日時:9月30日(土) 15:00~17:00

担当:端山聡子

参加人数:23人

「鑑賞会と取材」

日時:10月14日(土) 10:00~12:00

担当:端山聡子,大岩久美

参加人数:16人

企画展「石内 都 肌理と写真」鑑賞とワークショップ

日時:2月7日(水) 13:30~16:30

担当:端山聡子,大岩久美,河上祐子,関 淳一

会場:企画展展示室,8階スクールスペース

参加人数:18人

横浜国立大学連携

老人ホーム訪問ワークショップ

横浜国立大学教育人間科学部授業(教育学部

小池研二准教授)との連携

日時:1回目 5月18日(木)

2回目 1月23日(火)

講師:山田哲平

担当:木下貴博

会場:市民のアトリエ,戸部ハマノ愛生園

参加人数:14人,14人

*5月10日(水),1月16日(火)は、横浜国立大学と横浜美術館で研修を実施

人材育成等

◎インターンシップ

子どものアトリエ

●インターン

活動期間:4月1日(土)-3月31日(土)

登録人数:6人

参加人数:延べ112人

●城西国際大学インターン

活動期間:8月6日(日)-9日(水),
20日(日)-23日(水)

登録人数:8人

参加人数:延べ40人

教育プロジェクトインターン

活動期間:平成29年2月26日(日)-1月31日(水)

登録人数:3人

参加人数:延べ95人

海外インターンシップの受入

活動期間:4月1日(土)-12月26日(火)

登録人数:1人

参加人数:延べ21人

◎子どものアトリエ

教師のためのワークショップ

*教育普及事業 学校教育連携事業 参照(P.32)

保育士・教師を対象とした研修等

*教育普及事業 学校教育連携事業 参照(P.32)

環境啓発事業

平成29年度横浜みどりアップ・ワークショップ

*市民のアトリエ ワークショップ 参照(P.37)

美術品の収集、保存・修復、貸出

収集

美術資料収集方針

横浜美術館では、次のような方針に基づき作品を収集しています。(平成30年3月現在12,019件所蔵)

- 1 西洋文化の流入窓口であった横浜開港当時からヨーロッパ近代美術と日本近代美術の相互影響の足跡がたどれる作品
- 2 (1) 現代美術の展開と流れの鳥瞰に役立つ作品
(2) 今日の美術が内包する問題点を明確に表している作品
(3) 近代美術の一分野としての写真の代表作品
(4) 現代の市民生活に密着した分野(デザイン、工芸、建築、ビデオ)の代表作品
- 3 横浜ゆかりの代表的作家の作品
(1) 岡倉天心との関係を含めて、原三溪に庇護された、日本近代美術の発展に寄与した作家の作品
(2) その他、横浜ゆかりの代表的作家の作品
- 4 以上の美術に関連する資料

収集実績

分野別作品収集件数 平成29年度末累計：()内が29年度収集点数

	日本画	油彩画 (日本洋画・西洋画)	版画	水彩・素描	彫刻・立体	工芸	写真・映像	作品外資料	合計
購入	163 (0)	199 (0)	1,612 (5)	62 (0)	47 (1)	82 (0)	3,188 (0)	0 (0)	5,353 (6)
寄贈	741 (8)	312 (3)	1,653 (42)	1,698 (77)	56 (0)	96 (6)	812 (0)	1,298 (3)	6,666 (139)
合計	904 (8)	511 (3)	3,265 (47)	1,760 (77)	103 (1)	178 (6)	4,000 (0)	1,298 (3)	12,019 (145)

*上記点数に寄託作品は含まれない。

平成29年度の主な収集作品

作家	作品名
兵藤和男	自画像
小野忠重	とりの道
中林忠良	転位 '09一地(光)一Ⅱ
山岸主計	サンフランシスコ・ウインドミル(「世界百景」より)
金氏徹平	White Discharge(建物のように積みあげたもの #3)
関島寿子	無題 かご(No.364)

*今年度の全収集作品については、「横浜美術館収蔵品目録」(平成30年度発行予定)を参照

保存・修復

分野	作家名	作品名	収蔵品番号	修復内容
版画	上前智祐	《作品》	2011-PRJ-005	マット装
		《作品》	2011-PRJ-006	マット装
		《作品》	2011-PRJ-020	マット装
		《作品》	2011-PRJ-022	マット装
		《作品》	2011-PRJ-034	マット装
		《作品》	2011-PRJ-038	マット装
	吉田亜世美	《LINEAR COMPOSITION L2-R.S.G.》	2011-PRJ-044	マット装
		《線による作品 L5-C.P.K.》	2011-PRJ-046	マット装
		《LINEAR COMPOSITION L25-B.B.M.》	2011-PRJ-047	マット装
	吉田千鶴子	《夜半の雪》	2011-PRJ-049	マット装
		《ウトロ流氷》	2011-PRJ-050	マット装
	吉田穂高	《町外れの神話 夕》	2011-PRJ-084	マット装
		《ツーカーと白い家、N.》	2011-PRJ-085	マット装
		《私のコレクションより 坂道の家、P.M.》	2011-PRJ-088	マット装
	関野準一郎	《埠頭裏》	2012-PRJ-009	マット装
		《郊外の景》	2012-PRJ-010	マット装
		《コレスロンの勝利》	2012-PRJ-014	マット装
		《ハドソンリバー》	2012-PRJ-017	マット装
		《富士と詩人(堀口大學) (『堀口大學詩集 富士山』より)》	2012-PRJ-019	マット装
		題名不詳	2012-PRJ-049	マット装
	長谷川潔	題名不詳	2017-PRJ-039	マット装
	小野忠重	《ある工場》	2017-PRJ-001	マット装
		《施療病院の廊下》	2017-PRJ-002	マット装
		《死を回る人々》	2017-PRJ-008	マット装
		《木場》	2017-PRJ-019	マット装
		《鳥の道》	2017-PRJ-020	マット装
		《道 A》	2017-PRJ-022	マット装
		《海死す》	2017-PRJ-028	マット装
		《位置 '17-光-V》	2017-PRJ-038	マット装
	中林忠良	《Position '77-1》	2017-PRJ-032	マット装
		《Position '95-腐蝕 I》	2017-PRJ-035	マット装
		《転位 '09-地(光)-II》	2017-PRJ-037	マット装
		《位置 '17-光-V》	2017-PRJ-038	マット装
	ジョアン・ミロ	《岸壁の軌跡I》	82-PRF-021	マット装の更新
		《岸壁の軌跡II》	82-PRF-022	マット装の更新
		《岸壁の軌跡III》	82-PRF-023	ドライクリーニング、粘着テープ・粘着剤の除去、補修、旧ヒンジ除去、ならびにマット装の更新
		《岸壁の軌跡IV》	82-PRF-024	マット装の更新
		《岸壁の軌跡V》	82-PRF-025	マット装の更新
		《岸壁の軌跡VI》	82-PRF-026	ドライクリーニング、粘着テープ・粘着剤の除去、補修、旧ヒンジ除去、ならびにマット装の更新
		《岸壁の軌跡VII》	82-PRF-027	マット装の更新
	ポール・ジャクレー	《漁夫、佐原》	2003-PRF-134	マット装
		《竹本東朝》	2003-PRF-135	マット装
		《アイヌの古老、北海道近分》	2003-PRF-203	マット装
		《アイヌの老女、北海道近分》	2003-PRF-204	マット装
	水彩・素描 長谷川潔	《サン・ポール・ド・ヴァンスの泉》	2017-DRJ-033	マット装
		《鐘楼》	2017-DRJ-035	マット装
		《林檎》	2017-DRJ-043	マット装
《花(版画集『長谷川潔の肖像』表紙)》の画稿		2017-DRJ-046	マット装	

分野	作家名	作品名	収蔵品番号	修復内容
彫刻・立体	イサム・ノグチ	《三位一体》	90-SF-002	2017年1月25日に来館者接触により生じた損傷の補修(歪み矯正、洗浄、傷の修復、顔料タッチアップ、ワックス仕上げ)
	菅 木志雄	《散境》	99-SJ-005	合板の燻蒸
写真・映像	石内 都	〈絶唱、横須賀ストーリー〉シリーズより24点	2001-PHJ-002～	額内のスペーサーの再固定、ヒンジの再固定(2001-PHJ-027のみ)
			007,009,011,013, 015,016,023,025 ～028,034,036, 041,042,044,045, 049,051,053	
	土田ヒロミ	「ヒロシマ・モニュメント」シリーズ(計20点)	2016-PHJ-043～	マット装
		「ヒロシマ・コレクション」シリーズ(計20点)	2016-PHJ-023～	マット装
	「ヒロシマ 1945-1979/2005」シリーズ(計20点)	2016-PHJ-003～	マット装	
		022		

貸出

貸出件数・点数

貸出先総件数: 22件(うち海外1件)

貸出総作品数: 110点

貸出実績

展覧会等名称・展示会場・会期	作家名	作品名*・収蔵作品番号**
「ヴォルスー路上から宇宙へ」 DIC川村記念美術館 平成29年4月1日(土)-7月2日(日)	ヴォルス	無題(82-PHF-384)
		無題(82-PHF-386)
		無題(82-PHF-388)
		無題(82-PHF-389)
		無題(82-PHF-390)
		無題(82-PHF-393)
		無題(82-PHF-395)
		無題(82-PHF-396)
		無題(82-PHF-397)
		無題(82-PHF-398)
		無題(82-PHF-400)
		無題(82-PHF-401)
		無題(82-PHF-402)
		無題(82-PHF-403)
		無題(82-PHF-405)
無題(82-PHF-410)		
無題(82-PHF-41C)		
無題(82-PHF-41D)		
《植物》		
「リアル(写真)のゆくえー高橋由一、岸田劉生、そして現代になくもの」 平塚市美術館 平成29年4月15日(土)-6月11日(日)	渡辺幽香	《幼児図》※神奈川展・栃木展
足利市立美術館 平成29年6月17日(土)-7月30日(日)	岸田劉生	《椿君之肖像》※愛知展・兵庫展
碧南市藤井達吉現代美術館 平成29年8月8日(火)-9月18日(月祝)		
姫路市立美術館 平成29年9月23日(土祝)-11月5日(日)		
練馬区独立70周年記念展 「19世紀パリ時間旅行一失われた街を求めてー」 練馬区立美術館 平成29年4月16日(日)-6月4日(日)	エドゥアール・マネ	《シャルル・ボードレール(正面像)》
		《たばこを吸う男》
	エドゥアール・バルテュス	《アルコール橋》
		《シャトレ広場》
		《セーヌ川》
	アシル・キネ	《セーヌ川》
「生誕140年 吉田博展」 サントミューゼ上田市立美術館 平成29年4月29日(土祝)-6月18日(日)	吉田 博	《冬木立》
東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館 平成29年7月8日(土)-8月27日(日)		《タジマハルの朝霧(第五)》
		《タジマハルの夜(第六)》
※平成28年度に千葉市美術館、郡山市立美術館、久留米市美術館で開催後、巡回		
「歿後60年 椿貞雄 師・劉生、そして家族とともに」 千葉市美術館 平成29年6月7日(水)-7月30日(日)	岸田劉生	《椿君之肖像》
「小茂田青樹」 島根県立美術館 平成29年7月14日(金)-8月28日(月)	小茂田青樹	《横浜海岸通り》
		《逢坂山》
		《ボンボンダリヤ》
「カミナリとアート 光／電気／神さま」 群馬県立館林美術館 平成29年7月15日(土)-9月3日(日)	中島清之	《雷神》
	福田美蘭	《風神雷神図》

展覧会等名称・展示会場・会期	作家名	作品名*・収蔵作品番号**
「山へ! to the mountains 展」 世田谷文学館 平成29年7月15日(土)-9月18日(月祝)	中澤弘光	『日本アルプス』第2巻 扉原画
	小島烏水関連資料	『日本アルプス』第2巻 表紙原画
		ウォルター・ウェストン自筆書簡(小島烏水・高野鷹蔵・高頭式宛、1937年2月10日付)
		小島烏水自筆原稿「ウェストン翁に与ふる書」
		小島烏水自筆原稿「山の因縁55年(従二十一歳至七十五歳)」
		小島烏水自筆原稿「本邦中部・陸奥・北海道の深山幽谷を跋涉したる僧円空」
		小島烏水自筆原稿「泉鏡花の山岳小説」
		小島烏水自筆原稿「山と渓谷の日記」
		小島烏水自筆原稿「湖畔の破れ小舎」
		小島烏水自筆原稿「山と人の素描」
		小島烏水自筆原稿(山へ登るといふ人は全国から見れば或は少人数で…)
		小島烏水自筆原稿(している生物はなかり。この駒草は…)
		小島烏水自筆原稿(「高野聖」の、のつけに、参謀本部編纂の地図を…)
	小島烏水自筆原稿「常念岳大天井岳の所在を捜し歩く記」	
	小島烏水自筆原稿(山に対する観察としては三つの態度が考へら…)	
	小島烏水「岩波版『日本風景論』に就いて」『日本山岳会 会報』73号 昭和13年2月 校正紙	
	小島烏水『山岳文学』校正紙	
「奈良美智 for better or worse」 豊田市美術館 平成29年7月15日(土)-9月24日(日)	奈良美智	《春少女》
「生誕150年記念 藤島武二展」 練馬区立美術館 平成29年7月23日(日)-9月18日(月祝) ※練馬区独立70周年記念展	エミル=オーギュスト・カロリュ ス=デュラン	《アンドロメダ》
鹿児島市立美術館 平成29年9月29日(金)-11月5日(日)		
神戸市立小磯記念美術館 平成29年11月18日(土)-平成30年1月28日(日)		
「ヨコハマトリエンナーレ2017 島と星座とガラパゴス」 横浜美術館、横浜赤レンガ倉庫1号館 平成29年8月4日(金)-11月5日(日)	川上澄生 平橋田中 マックス・エルンスト	《南蛮船図》(83-PRJ-012) 《岡倉天心胸像》*横浜赤レンガ倉庫1号館に展示 《白鳥はとてもおだやか…》
		コラージュ・ロマン『カルメル修道会に入ろうとしたある少女の夢』(1930年、パリ)第12番のための挿絵の原画:《そして「闇の女」を踊りおえると、カルヴァリオの丘の真婦人たちの舞踏会で、マルスリーヌ=マリーは、押しかける男たちの追従の的になる。》
		コラージュ・ロマン『カルメル修道会に入ろうとしたある少女の夢』(1930年、パリ)第44番のための挿絵の原画:《いまは無言の祈禱の時間。祈禱「いとしい主よ、御身のなしうるだけ私をかわいがってくださいませよう。この忘れがたい夜に…」》
		コラージュ・ロマン『カルメル修道会に入ろうとしたある少女の夢』(1930年、パリ)第62番のための挿絵の原画:《修道院長「突くのです。かわいい子よ、そなたについて行くのは容易ではありません。私は素っ裸です。」》

貸出

展覧会等名称・展示会場・会期	作家名	作品名*・収蔵作品番号**	
	マックス・エルンスト	コラージュ・ロマン『慈善週間または七大元素』のための挿絵の未使用の原画 コラージュ・ロマン『鏡を通り抜ける』(1962年、ケルン)のための挿絵の原画:《鏡の中の天使》 《オイディプス25》(コラージュ・ロマン『慈善週間または七大元素』中の「第4のノート 水曜日 元素一血 例一オイディプス」第25番の図版より) 《形状》	
	伝ペーター・B.W.ハイネ	《ペルリ提督横浜上陸の図》	
	ハーヴェイ・R・マークス	《栄力丸船員 仙太郎(SIMPACHI)》 《栄力丸船員 亀蔵(COMMETHO)》	
	ジョアン・ミロ / ルイ・マルクーシ	《ミロの肖像》	
	マン・レイ	《カザティ侯爵夫人》 《ガラスの涙》 《卵と貝殻(ソラリゼーション)》 《桃と葉》 《無題(ソラリゼーション)》 《無題》(82-PHF-238) 《メレット・オツペンハイム》(82-PHF-230) 《メレット・オツペンハイムとルイ・マルクーシ》(82-PHF-243) 《メレット・オツペンハイムとルイ・マルクーシ》(82-PHF-244) 《メレット・オツペンハイム(ソラリゼーション)》 《メレット・オツペンハイム》(82-PHF-246) 《ヴィーナス=金星の蝕》 《解剖台の上のミシンと蝙蝠傘の偶然の出会いのように美しい》 《アンドレ・ブルトン(ソラリゼーション)》 《ファッション写真(ソラリゼーション)》 《顔を塗った2つのヌード》 《無題》(82-PHF-26A)	
	イヴ・タンギー	《風のアルファベット》	
	「ルオーのまなざし 表現への情熱」 宮城県美術館 平成29年8月12日(土)-10月9日(月祝)	ガブリエーレ・ミュンター	《抽象的コンポジション》
	「表現への情熱 カンディンスキー、ルオーと色の冒険者たち」 パナソニック 汐留ミュージアム 平成29年10月17日(火)-12月20日(水)		
	富山県美術館開館記念展 Part 1 「生命と美の物語 LIFE―楽園をもとめて」 富山県美術館 平成29年8月26日(土)-11月5日(日)	下村観山	《闇性》
	「没後45年 鏡木清方展」 高松市美術館 平成29年9月9日(土)-10月15日(日)	サルバドール・ダリ	《ガラスの測地学的肖像》
	「フェリーチェ・ベアトの写真 人物・風景と日本の洋画」 DIC川村記念美術館 平成29年9月9日(土)-12月3日(日)	ヴィフレド・ラム	《アダムとイヴ》
	開館二十五周年記念「中島千波展“美術館がやってきた!”」 おぶせミュージアム・中島千波館 平成29年10月6日(金)-12月5日(火)	鏡木清方	《遊女》 《春宵怨》
		高橋由一	《愛宕山より品川沖を望む》
		チャールズ・ワーグマン	《座る婦人》
	中島千波	《窓》	

展覧会等名称・展示会場・会期	作家名	作品名*・収蔵作品番号**
品川区民芸術祭2017 O美術館企画展「林敬二展」 O美術館 平成29年10月14日(土)-11月7日(火)	林 敬二	《月のようなドクターG》 《梨のようにならぶ二人》 《五月雨 '91》 《Triptych I 一水銀の辺りー》 《漾々・アイボリーブラックⅢ》 《漾々・アイボリーブラック》
開館20周年記念「龍を描くー天地の気」 茨城県天心記念五浦美術館 平成29年10月25日(水)-11月 26日(日)	下村 観山	《十六羅漢》 《四眠》
「ルドンー秘密の花園」 三菱一号館美術館 平成30年2月8日(木)-5月20日(日)	オディロン・ルドン	《二人の踊女》
「第10回恵比寿映像祭『インヴィジブル』」 東京都写真美術館 平成30年2月9日(金)-2月25日(日)	清野 賀子	《東京(「Emotional Imprintings」より)》 《夏の影 埼玉(「The Sign of Life」より)》 《タチアオイ 茨城(「The Sign of Life」より)》
「『光画』と新興写真 モダニズムの日本」 東京都写真美術館 平成30年3月6日(火)-5月6日(日)	堀 不佐夫	《レコードと針》
「Cézanne Portraits」 ナショナル・ギャラリー・オブ・アート(ワシントン) 平成30年 3月25日(日)-7月8日(日)	ポール・セザンヌ	《縞模様の服を着たセザンヌ夫人》

*会場を限定して貸出した作品については展示会場を補記

**同一作品名が複数ある作品については収蔵品番号を補記

広報の活動、外部と連携した事業

広報

個別の展覧会や事業ごとの宣伝だけでなく、横浜市の芸術拠点としての「横浜美術館」の発信、芸術文化の振興のために、広報を重視し、戦略的に取り組んでいます。

私たちが目指している方向とそのためのお取り組み、さまざまな活動の内容とその成果も含め、横浜美術館を支えていただいている市民やメディアそして社会との信頼と支援の係をより強固に形成してゆきたいと考えます。そのため「横浜美術館」としての発信を行うパンフレットや刊行物等を発刊するとともに、さまざまな媒体を活用した迅速かつ計画的なPRに取り組んでいます。

また、横浜美術館を取り巻く社会の構造、また市民の生活行動や芸術文化に対するニーズなども今後大きく変化していきます。それらを分析、把握し、私たちの事業や管理運営活動に反映させ、展開していくことが必要です。マーケティング戦略の再構築をすべく、取り組んでいます。

露出件数

新聞	美術雑誌・一般雑誌・FP	ウェブ	TV・ラジオ	その他	海外	合計
686	790	5,366	1,824	49	342	9,057

展覧会広報

◎ファッション展

記者会見

日時: 4月14日(金) 14:00~14:30

登壇者: 逢坂恵理子, 沼田英子, 深井晃子(京都服飾文化研究財団 理事/名誉キュレータ), 周防珠実(京都服飾文化研究財団 キュレータ)

会場: 円形フォーラム

参加人数: 79人

報道内覧会

日時: 4月14日(金) 15:30~18:00

会場: 展示室

参加人数: 127人

開会式・内覧会

日時: 4月14日(金)

15:00~15:30・15:30~18:00

会場: グランドギャラリー・展示室

参加人数: 562人(プレス127人含)

◎ヨコトリ2017

記者会見

第1回記者会見

日時: 平成28年10月11日(火)

登壇者: 逢坂恵理子, 三木あき子, 柏木智雄

養老孟司, スプツニ子!

スハーニャ・ラフェル

リクリット・ティラヴァーニャ

会場: KKRホテル東京 11階「孔雀」

第2回記者会見

日時: 4月18日(火) 14:30~15:30

登壇者: 逢坂恵理子, 三木あき子, 柏木智雄

宇治野宗輝, 小沢 剛

会場: 銀座 王子ホール

参加人数: 153人

第3回記者会見

日時: 8月3日(木) 11:30~12:30

登壇者: 青山 悟, ジョコ・アヴィアント, オリ

バー・チャナリン, サム・デュラント,

アレックス・ハートリー, 畠山直哉,

クリスチャン・ヤンコフスキー, マーク・

フスティニアニ, 風間サチコ, 木下

晋, 小西紀行, マップオフィス, プラバ

ワティ・メツパイル, ミスター, 小沢 剛,

キャシー・ブレンダーガスト, 瀬尾夏

美, ワエル・シャウキー, シュシ・スラ

イマン, 照沼敦朗, タチアナ・トウル

ヴェ, 柳 幸典, ザオ・ザオ(赵赵)

*姓のアルファベット順

プロジェクト Don't Follow the Wind:

ジェイソン・ウエイツ

ヨコハマサイト・アーティスト: 田村友一郎

ヨコハマプログラム 水族館劇場: 桃山 邑

構想会議メンバー: スハーニャ・ラフェル

リクリット・ティラヴァーニャ

コ・ディレクター:

逢坂恵理子, 柏木智雄, 三木あき子

会場: 横浜ランドマークホール

参加人数: 246人

内覧会

日時: 8月3日(木)

記者12:30~14:30

一般14:30~18:00

会場: 横浜美術館, 横浜赤レンガ倉庫1号館,

横浜市開港記念会館

参加人数: 約1,750人

オープングレセプション

日時: 8月3日(木) 18:00~20:00

会場: 横浜ロイヤルパークホテル 大宴会場

「鳳翔」

参加人数: 約1,400人

アーティストパーティー

日時: 8月3日(木) 20:30~22:30

会場: サブゼロ (横浜港大さん橋国際客船

ターミナル内)

参加人数: 約100人

◎石内都展

記者会見

日時: 12月8日(金) 15:00~15:45

登壇者: 石内 都, 逢坂恵理子, 大澤紗蓉子

会場: レクチャーホール

参加人数: 85人

記者内覧会

日時: 12月8日(金) 14:00~16:00

会場: 展示室

参加人数: 173人

開会式・内覧会

日時: 12月8日(金)

16:00~16:20・16:20~19:00

会場: グランドギャラリー・展示室

参加人数: 695人(プレス173人含)



ファッション展記者会見



ヨコトリ2017第3回記者会見 撮影：加藤 健



石内展記者会見



記者懇談会



海老名市立中央図書館トーク



首都圏広報 THE TOKYO ART BOOK FAIR 2017

全館広報

ウェブサイト

アクセス数：6,625,162pv
(平成30年3月31日現在)

Twitter

フォロワー数：137,715
(平成30年3月31日現在)

メールニュース

登録者数：8,640人
(平成30年3月31日現在)
発行数：定期便24回
臨時便15回+HTMLメール3回
トピック：新規登録キャンペーンを2回実施

◎ウェブを活用した全館広報

Instagramを活用した横浜美術館魅力発信イベント

日時：4月27日(木) 10:00~12:30

会場：企画展展示室、グランドギャラリー、ポルティコ

主催：凸版印刷株式会社

参加人数：13人

*6月2日(金)凸版印刷株式会社の公式サイトで公開。

◎記者懇談会

美術記者向け平成30年度企画展紹介と懇談会

日時：2月27日(火) 14:00~16:00

会場：8階レセプションルーム

参加人数：33人

◎首都圏に焦点をあてた広報展開

ファッション展

- ・三菱一号館美術館との相互割引、三菱地所レジデンスチャリポスト
- ・Fashion Studies連携 トークイベント
堀畑裕之 (matohu), 関口真希子 (matohu), 周防珠実 (京都服飾文化研究財団キュレーター)
- ・Amazon Fashion Week Tokyo 2017 A/Wとの連携
- ・映画『メットガラ』との広報連携
- ・アートフェア東京との連携
- ・海老名市立中央図書館「横浜美術館学芸員によるトークイベント『ファッション展』から」

ヨコトリ2017

- ・講演会「クワリエ・ジャポン」講演会(木村絵理子)
- ・シティリビング読者割引, タウンニュース読者割引

石内都展

- ・THE TOKYO ART BOOK FAIR 2017へのブース出展
- ・daikanyama photo fair 2017「トークセッション」(石内都×大澤紗蓉子)
- ・アートフェア東京2018, フォトヨコハマ2018・CP+2018割引

◎海外メディアへの広報

企画展, コレクション展, NAP, 全展で日英での展覧会プレスリリース作成
海外メディアへの展覧会プレスリリース配信

マーケティング

展覧会アンケートに見る来場者プロフィール *回収率=回収数÷総入場者数

	ファッション展	石内都展	ヨコトリ2017
総数	1,020通(*回収率2.2%)	614通(*回収率2.5%)	1,536通(ウェブアンケート)
来館回数			
11回以上	12%	27%	第一回展(2001年) 34%
6~10回	15%	16%	第二回展(2005年) 37%
2~5回	32%	27%	第三回展(2008年) 50%
今回が初めて	34%	24%	第四回展(2011年) 66%
不明	7%	6%	第五回展(2014年) 80%
居住地			今回が初めて 47%
市内	40%	33%	31%
市外	55%	67%	68%
不明	5%	6%	1%
性別			
女性	22%	60%	65%
男性	74%	34%	35%
不明	4%	5%	1%
年齢			
19歳以下	11%	6%	4%
20代	12%	15%	22%
30代	8%	9%	23%
40代	16%	19%	25%
50代	25%	27%	19%
60代以上	24%	20%	6%
年齢不明	4%	6%	1%

展覧会報告会 ファッション展 7月5日(水) 石内都展 3月14日(水)

外部と連携した事業



旅する根付 高円宮妃殿下写真展



パシフィコ横浜 CP*2018 トーク



横浜みなとみらいホール連携コンサート



神奈川ライトセンター連携ワークショップ



プレミアムSUV&クロスオーバーフェア



オートカラーアワード2017

文化芸術創造都市「横浜」の中心的な施設として、横浜市の都市戦略である創造都市形成や、シティ・セールス、観光プロモーションと連携した事業を展開しています。また、横浜市芸術文化振興財団は、横浜みなとみらいホール、横浜能楽堂、横浜にぎわい座、横浜赤レンガ倉庫1号館などを管理運営しています。それぞれに専門分野がありますが、社会課題への対応や子どもへの取組みなどの共通の課題については、横断的な検討体制により連携して実施します。

都市戦略との連携

◎横浜市が推進するイベント等との連携

クラシック・ヨコハマ 音遊びワークショップ

日時：1月6日(土)
10:20~11:20, 11:50~12:50,
14:00~15:00

会場：8階レセプションルーム

主催：クラシック・ヨコハマ推進委員会、
毎日新聞社、横浜市

参加人数：36人, 27人, 29人

フォト・ヨコハマ

特別展示 旅する根付 高円宮妃殿下写真展 と現代根付コレクション

日時：2月23日(金)-3月4日(日)

会場：アートギャラリー1

主催：フォト・ヨコハマ実行委員会

参加人数：2,784人

CP*2018オープニングパーティー

日時：3月1日(木) 18:00~20:00

会場：グランドギャラリー

参加人数：200人

専門館連携

横浜みなとみらいホール連携

横浜美術館で音楽会「ファッションとアート 麗しき東西交流」展に寄せて

日時：6月14日(水)

①13:30~13:45 ②15:00

会場：①グランドギャラリー

②レクチャーホール

出演者：大萩康司(ギター)

小池郁江(フルート)

参加費：①無料 ②一般2,800円

参加人数：①312人 ②219人

大佛次郎記念館連携

「大佛次郎のモダン・ライフ」写真パネル展

日時：3月25日(土)-6月25日(日)

10:45~18:00

会場：Café小倉山

参加人数：9,003人

アーツコミッション・ヨコハマ連携

「きくたびプロジェクト」体験&アフターセッション

日時：2月25日(日) 11:30~14:30

会場：コレクション展展示室、円形フォーラム

主催：視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ

助成：アーツコミッション・ヨコハマ

参加人数：15人

外部との連携

アジア開発銀行 (ADB) 2017年 年次総会
横浜銀行レセプション

日時:5月6日(土) 19:00~21:30
会場:グランドギャラリー,コレクション展
示室
参加人数:458人

第56回国際粒子線治療共同グループ(PTCOG)
年次大会ガラ・ディナー

日時:5月11日(木) 19:00~21:30
会場:グランドギャラリー,ファッション展
示室
参加人数:329人

KAATキッズ・プログラム2017『不思議の国
のアリス』関連プログラム 森山開次による
ワークショップ「おどろろ!描こう!」

日時:6月10日(土) 11:00~12:30
講師:森山開次
担当:山崎 優,岡崎智美,高德早矢香
会場:子どものアトリエ
対象:小学校1~4年生
参加人数:18人

第31回イメージフォーラム・フェスティバル
2017

映像表現の最先端を紹介する国内最大級の
映像アートの祭典。当館所蔵の映像資料を含
む国内外のフィルムアートを上映。
日時:6月16日(金)-18日(日)
会場:レクチャーホール
参加人数:51人,39人,112人 計202人

東京藝術大学映像研究科アニメーション専
攻第九期生修了制作展

会期:3月2日(金)-3月4日(日)
会場:レクチャーホール
内容:修了制作作品等、32作品の上映。ホワ
イエでのインスタレーション、造形物、
原画等の展示。
参加人数:198人,258人,278人 計734人

トークイベント
「アートとアニメーションの境界線」
日時:3月4日(日) 14:00~15:30
会場:アートギャラリー2
登壇者:山村浩二(東京藝術大学映像研究科
教授・アニメーション作家)
松永真太郎
参加人数:37人

神奈川県ライトセンター連携ワークショップ

日時:3月17日(土) 10:00~13:00
会場:子どものアトリエ
参加人数:28人

プレミアムSUV&クロスオーバーフェア 2017

日時:11月25日(土) 11:00~17:00
26日(日) 10:00~16:00
会場:横浜美術館前広場(新型車両展示)
主催:プレミアムSUV&クロスオーバーフェア
2017 実行委員会
参加人数:16,000人

オートカラーアワード2017

日時:12月15日(金)・16日(土)
10:00~16:00
会場:横浜美術館前広場(車両展示)
レクチャーホール(公開プレゼンテー
ション)
主催:一般社団法人日本流行色協会
参加人数:906人

「石内 都 肌理と写真」展におけるチョコレ
ートデザイン株式会社とのコラボレーション

期間:12月8日(金)-3月31日(土)
内容:展覧会特別パッケージチョコレート2
種の企画・販売

Heart to Art(企業向け芸術支援プログラム)

Heart to Artは、企業からの支援により美術の普及活動や市民へのサービスを充実させるプロ
グラムです。企業と美術館がそれぞれのノウハウを活かすことにより幅広い展開を目指しています。
参加企業:3社 NTTテクノクロス株式会社/千代田化工建設株式会社/横浜信用金庫

●《よこしん》親子でエコ教室共催

日時:7月24日(月)
13:00~13:50,14:00~15:40
講師(パフォーマンスショー):らんま先生
担当(ポスター制作):山崎 優,岡崎智美
高德早矢香
会場:子どものアトリエ
参加人数:67人(第1部のみ29人,ポスター
制作まで参加38人)

●《NTTテクノクロス株式会社》ファミリーデー

日時:8月25日(金) 10:00~13:00
担当:山崎 優,岡崎智美,高德早矢香
会場:子どものアトリエ
参加人数:48人

来館者へのおもてなし



夜間の貸切鑑賞会



かもめスクール



門松



正月装花



ミュージアムショップ



ホワイトチョコレートの青空ラテ

ビジターサービス

さまざまな方に向けたサービスとして、引き続き企画展観覧料の障がい者割引を実施しました。また、展覧会へのご理解を気軽に深めていただけるよう、個人や団体向けの鑑賞レクチャーを開催しました。エントランスホールであるグランドギャラリーにおいて、季節感のある空間演出を行っています。

団体向け鑑賞前レクチャー

日時：各企画展・コレクション展会期中
全23団体

会場：美術館内各所

参加人数：878人

*ヨコトリ2017期間中はボランティアトークとして実施

近隣アートプログラム

●MARK IS みなとみらい店長会等

日時：(各火曜) [12回] 4月11日, 5月9日, 6月13日, 7月11日, 8月8日, 9月12日, 10月10日, 11月14日, 12月12日, 1月9日, 2月13日, 3月13日

会場：レクチャーホール

参加人数：計1,447人

●MMcc(Minato Mirai community club)

ファッションとアート展

日時：5月17日(水) 18:00~20:30

参加費：1,500円

参加団体数：8社

参加人数：57人

●みなとみらいかもめSCHOOL

「ヨコハマトリエンナーレ2017」をもっと楽しむ!

～スライドレクチャーと創作体験～

日時：9月8日(金) 19:00~21:00

講師：関 淳一, 桜庭瑠実

会場：市民のアトリエ

参加費：3,000円

参加人数：10人

夜間開館

日時：5月17日(水), 10月27日(金)-29日(日),
11月2日(木)-4日(土), 3月3日(土)

各18:00~20:30

参加人数：1,570人

横浜アートde街コンin横浜美術館

日時：9月17日(日), 2月23日(金)

会場：展示室

参加人数：73人, 10人

主催：街コンジャパン(株式会社リンクバル)

パンフレット等整備

グランドギャラリーの演出

生花装飾

12月26日(火)-1月7日(日) *門松

1月4日(木)-14日(日) *正月装花

植物・休憩処設営

期間：ファッション展会期中

ヨコトリ2017会期中

石内都展会期中

Wifi 拡充

7月

来館者へのおもてなし

ミュージアムショップとカフェ

◎ミュージアムショップ

横浜美術館のコレクションをデザインしたオリジナルグッズや企画関連グッズをはじめ、過去の展覧会図録や、美術に親しむための書籍類、ポストカードやステーションナリーなどの身近な商品から、お子様向けの絵本など、約1,000種の商品をお取り扱いしています。

営業時間：11:00～18:00(ヨコハマトリエンナーレ2017期間中は10:00から営業)

(夜間開館日は20:30まで営業)

オリジナルグッズ

4月にコレクションによるオリジナルポストカード新規4種を製作販売。

8月にヨコハマトリエンナーレ2017公式グッズ3アイテム(5種)を製作販売。

オンラインショップ

300点以上の商品を掲載。特設カテゴリーとして企画展ごとのほか、「母の日」(5月)、「クリスマスギフト」(12月)、「バレンタイン」(2月)を開設。

◎Café 小倉山

展覧会の余韻を感じながらくつろげるスペースで飲み物や軽食を提供しています。

営業時間：10:45～18:00 ラストオーダーは閉店の30分前

(ヨコハマトリエンナーレ2017期間中は10:00から営業)(夜間開館日は20:30まで営業)

カフェ：コレクションを利用したオリジナルメニューと企画展ごとのメニュー

展覧会限定メニュー

●ファッション展

黒みつきなごシェイク
ファッションクレープアイス

●ヨコトリ2017

島と星座のクリームソーダ(期間限定)
ポップコーンラテ
タンドリーチキンのカレーサンド
世界のビール

●石内都展

黒ごまラテ
チキンのみそマヨ和風サンド

●コレクション展

ホワイトチョコレート青空ラテ

期間限定メニュー

春：桜のホワイトチョコレートラテ

冬：クリスマスプレート2017

全国都市緑化よこはまフェア：

フラワーガーデンソーダ
海老とアボカドのスピニッツサンド

西区キャンドルアート限定：

ひこにゃんバナナラテ
にしまろちゃんパンケーキ
ラテ&パンケーキセット

正月：お汁粉&日本茶

イベント

●特別展示

「大佛次郎のモダン・ライフ」写真パネル展
*外部と連携した事業 専門館連携 参照
(P.53)

Green light 寄付募集展示

*教育普及事業 鑑賞サポート ヨコハマトリ
エンナーレ2017 関連プログラム等 参照
(P.30)

●イルミネーション装飾

期間：11月17日(金)～3月4日(日)

国際的な交流・発信

来館者 (肩書きは来館・視察当時。中国系、韓国系の名前は原則氏名の順)

ジョン・カーベント メトロポリタン美術館アジア美術部日本美術 キュレーター アメリカ コレクションについての情報交換及びファッ ション展視察 4月17日(月)	トマーシュ・ウェンドランド メディエーションズ・ビエンナーレ ディレク ター ポーランド 9月2日(土)	・フル・アルカスミ シャルジャ芸術財団プレジデント兼ディレ クター アラブ首長国連邦 ・イ・ヨンウ 上海プロジェクト ディレクター 中国
ユ・イルホ 他9名 経済副首相兼企画財政部長官 韓国 ファッション展、コレクション展視察 5月5日(金祝)	マーティン Z. マールグリーズ コレクション オーナー アメリカ 9月5日(火)	・Md. ジャファル・イクバル シュノ・アートスペースCEO バングラデシュ ・クリスチャン・オキシニウス リバプール大学 イギリス
◎ヨコトリ2017視察 キャロリン・ジェラティ シドニー・ビエンナーレ 展覧会マネージャー オーストラリア 8月6日(日)	Olga Kisseleva Artist - Head of Art&Medium Program Faculty of Arts Pantheon-Sorbonne University, Paris フランス 9月11日(月)	・ビゲ・オール イスタンブール・ビエンナーレ ディレクター トルコ ・ファビオ・カヴァルツチ ルイーダ・ベッチ現代美術センター館長 イタリア
横浜市、泉州市(中国)、光州広域市(韓国) 青 少年文化交流事業 55名 日本、中国、韓国 8月9日(水)	Jonathan Anderson Edwin Low 9月13日(水)	・ジュティス・グリーア シャルジャ芸術財団国際プログラムディレ クター アラブ首長国連邦
台北市立美術館 ・ピン・リン 館長 ・シャーリーン・ユ 展示部門チーフ・キュレーター 台湾 8月14日(月)	濱中麻由美 カラ・アート・インスティテュートギャラリー/ コミュニケーション・ディレクター アメリカ 9月15日(金)	・リヤス・コム コチ・ビエンナーレ財団共同創設者/アー ティスト/キュレーター インド
パク・チュウオン 韓国国立現代美術館 キュレーター 韓国 8月14日(月)	A4美術館 ・サニー・サン・リ キュレーター、アート・ディレクター ・サイ・リユアン 展示・教育部門アシスタント・キュレーター、 ディレクター 中国 9月18日(月祝)	・ドリー・コーラ=バロガン レトロ・アフリカ共同創設者 ナイジェリア ・T. メリ・ゴルガン シノバル創設者兼アーティストック・ ディレクター トルコ
ペーコンプライズ 日本 8月16日(水)	ベンワディー・ノツパケット・マーン インディペンデント・キュレーター タイ 9月18日(月祝)	・マルガリータ・ゴンザレス 第12回ハバナ・ビエンナーレ アーティス ティック・ディレクター ヴィフレド・ラム現代美術センター副館長 キューバ
東アジアメディア ・ライ・フェイ LEAPシニア・エディター ・レベッカ・キャッチング Ran Dianマネージング・エディター ・ハオユアン・ウエン エディター/ジャーナリスト ・キム・ボッキ Art in Culture理事長 他1名 中国、台湾、韓国、日本 8月19日(土)・20日(日)	スクキュン・リ テート・リサーチ・センター(アジア) シニア・ リサーチ・キュレーター イギリス 9月19日(火)	・ネヴェンスカ・シヴァヴェツツイ リュブリヤナ・グラフィック・アート・ビエン ナーレ ディレクター/国際グラフィック・ アート・センター館長 スロベニア ・サリー・タラント リバプール・ビエンナーレ ディレクター イギリス
	ティエリー・ペイル フランス大使館 日本 9月22日(金)	・L. イゴ・ディアラ ラ・メディナ ディレクター マリ ・チアゴ・ドゥ・パウラ・ソウザ 第10回ベルリン・ビエンナーレ キュレト リアルチーム メンバー/キュレーター/エ デュケーター ブラジル
	国際ビエンナーレ協会(IBA) ・エルケ・アウス・デム・ムーア ifa美術部門ヘッド ドイツ	

国際的な交流・発信

・アテカ・マリック
カラチ・ビエンナーレ・トラスト副理事
パキスタン

・ルイス・ビッグス
フォークストーン・トリエンナーレ キュ
レーター
イギリス

・イザベラ・ヒューズ
ホノルル・ビエンナーレ財団ディレクター
アメリカ

・シルヴィー・フォルタン
インディペンデント・キュレーター／ラ・ピ
エンナーレ・モンリオール前アーティスト
ティック・ディレクター
カナダ

・ガブリエル・ホルン
ベルリン・ビエンナーレ ディレクター
ドイツ

・リン・ミン
国際美術評論家連盟、副委員長／IAAC 理事
中国
9月25日(月)-27日(水)

神谷幸江
ジャパン・ソサエティー 館長
アメリカ
9月26日(火)

国際交流基金招へい

・アイノア・ジャン(ペンネーム:アイノア・ジャ
ン=カルメッツ)
Mouvement magazine 編集長

・デュ・ケケ
Artforum International 編集長

・デヴィ・リア・ウタリ
Sarasvati Art Communication and Pub-
lication 前ライター

・イサガニ・Jr. ・ドバヤン
The Philippine STAR ライフスタイル・ア
シスタント・エディター

・ダリル・ゴ
Features Central, The Star Media Group
Berhad 副編集長

・ページ・カトリーヌ・ブラッドレイ
Artforum International Magazine 共同編
集者

・バンジー・ヴァスヴァニ
Hyperallergic 寄稿者

・フィオナ・チャーチマン
ArtReview/ArtReview Asia 編集助手

・ダオ・マイ・トラン
Culture & Arts Magazine 編集者
フランス、中国、インドネシア、フィリピン、マ
レーシア、アメリカ(2名)、イギリス、ベトナム
9月27日(水)

インディペンデント・キュレーター
・ティル・フェルラス
・サム・バードウィル
ドイツ、アメリカ
9月29日(金)

ジョイス・トー
シンガポール美術館 キュラトリアルチーム
共同代表
シンガポール
9月30日(土)

パトリック・フローレス
フィリピン大学美術学部 教授
フィリピン
10月2日(月)

キース・ウイトル
インディペンデント・キュレーター
イギリス
10月3日(火)

マリア・イリス
イリス社4代目 コレクター
フランク・オーバンドルフ
株式会社イリス社代表取締役社長／日本
オーバンドルフ薫
ドイツ、日本
10月9日(月祝)

ニューサウスウェールズ州立美術館 メン
バーシップ会員 27名
オーストラリア
10月10日(火)

リュ・ハンスン
韓国国立現代美術館 キュレーター
韓国
10月12日(木)

台湾国立芸術大学
・インイン・ライ
教授/ディレクター
・学生19名
台湾
10月13日(金)

アリス・タン
M+ キュレーター
中国(香港)
10月14日(土)

ナショナル・ギャラリー・シンガポール
・ユージン・タン
館長
・エレヌ・イー
副館長
・セン・ユジン
シニア・キュレーター
・アデル・タン
キュレーター
・シャーメイン・トウ
キュレーター
・チェン・ジアユン
アシスタント・キュレーター
・リン・ポー
アシスタント・マネージャー
シンガポール
10月16日(月)

ジュディ・アニア
インディペンデント・キュレーター
オーストラリア
10月17日(火)

ロジャー・バレン
写真家
南アフリカ
10月17日(火)

ソウル市立美術館
・パク・ガヒ
キュレーター
・アシスタント・キュレーター1名
韓国
10月19日(木)

ニユン・ウォルシュ
インドシナアーツパートナーシップ エグゼク
ティブ・ディレクター&チーフ・キュレーター/
タイビエンナーレ アシスタント・キュレーター
アメリカ、タイ
10月19日(木)

アジア・ニュージーランド基金/クリエイティ
ブ・ニュージーランド ヴィジティング・キュ
レーター・プログラム
・ソフィー・デイヴィス
Enjoy Public Art Gallery キュレーター、
マネージャー
・サラ・マックリントック
The Suter Art Gallery コレクション・マ
ネージャー、キュレーター
・サラ・ウォール
Govett-Brewster Art Gallery アシスタ
ント・キュレーター
・ジュリア・タラシユク
museum 共同創立者、編集長
ニュージーランド
10月20日(金)

グッゲンハイム美術館
・イザベル・ホティムスキ
国際ディレクター評議会
アメリカ
10月20日(金)

国際交流基金 中国キュレーター招へいプ
ログラム 8名
中国
10月21日(土)

大邱美術館
・キム・ジュウォン
チーフ・キュレーター
・キム・ヘジン
キュレーター
韓国
10月24日(火)

シンガポール美術館
・シウリ・タン
シニア・キュレーター
・ルイス・ホー
キュレーター
シンガポール
10月24日(火)

ブリティッシュ・カウンシル招へいプログラム
(スコットランドキュレーター)
Susan Christie, Independent Curator
Eoin Dara, Head of Exhibitions, Dundee
Contemporary Arts
Gordon Douglas, Independent Curator
Neil Firth, Director, The Pier Arts Centre
Kirsteen Macdonald, Curator, Chapter
Thirteen
Naoko Mado, Independent Curator
Richard Parry, Director, Glasgow Inter-
national
Tako Taal, Programmer, Market Gallery
Amanda Catto, Head of Visual Arts, Cre-
ative Scotland
Juliet Dean, Visual Arts Adviser, British
Council Scotland
イギリス
10月25日(水)

チェ・ヒョジュン
ソウル市立美術館館長 館長
韓国
10月27日(金)

サム・イシヤン
エスプラネード キュレーター
シンガポール
10月30日(月)

デイヴィッド・ロックフェラー・ジュニア
スーザン・ロックフェラー
アメリカ
10月31日(火)

アンジェリカ・リー
インディペンデント・キュレーター
スイス
10月31日(火)

バルセロナ市文化公社
・マリア・グエル・オルディス
LLUM BCN フェスティバル・コミッショナー
・Oihane Urkiaga
駐日スペイン大使館経済商務部
スペイン
11月1日(水)

アジア・インスティテュート・オブ・アート・ア
ンド・ファイナンス
・サラ・リン
プログラム・マネージャー
・ジア・フェイ
Shanghai Lengyue Cultural Invest-
ment Co., Ltd
・ジン・リ
China Fortune Media Group
・ミアオ・カン
Shanghai Zhengwang Asset Manage-
ment Co. Ltd
・ロンウェン・リュ
Yongxing International Investment &
Trading Co., Ltd
中国
11月3日(金祝)

ジンスク・ソ
ナムジュン・パイク・アートセンター 館長
韓国
11月5日(日)

海外出張

逢坂恵理子

イタリア
ヴェネチア・ビエンナーレ視察
5月9日(火)-13日(土)

アラブ首長国連邦
シャルジャ・ビエンナーレ視察
5月14日(日)-15日(月)

ドイツ
IBA総会出席(ドクメンタ)及びミュンスター
彫刻プロジェクト視察
6月6日(火)-12日(月)

中村尚明

アメリカ
ワシントン・ナショナル・ギャラリー(ワシントン) 展覧会「Cezanne Portraits」への作品
貸出展示立会い(作品名:ポール・セザンヌ《縞
模様の服を着たセザンヌ夫人》
ノグチ美術館(ニューヨーク)平成30年度企
画展「イサム・ノグチと長谷川三郎」打合せ
2月26日(月)-3月4日(日)

帆足亜紀

オーストラリア
国際展覧会オーガナイザー会議(シドニー/メルボルン) 出席
4月25日(火)-29日(土祝)

アラブ首長国連邦
IBA理事会代理出席
3月16日(金)-18日(日)

木村絵理子

デンマーク、オランダ
デンマーク芸術財団及びモンドリアン財団共
催によるキュレーター・リサーチ・プログラ
ムへの参加(国際巡回展に関わる業務)
4月1日(土)-9日(日)

国際シンポジウム

国際ビエンナーレ協会(IBA)理事会

日時:9月25日(月) 10:30~20:30
内容:ヨコハマトリエンナーレ2017視察なら
びに会議
会場:三溪園

国際ビエンナーレ協会(IBA)総会

日時:9月26日(火) 13:30~16:00
会場:8階
参加人数:25人

●実務者ワークショップ「国際展・芸術祭の現場の声」

日時:9月27日(水) 10:00~11:30

会場:円形フォーラム

参加人数:31人

①なぜ国際展・芸術祭を開催するのか?新
しいアプローチと新たな課題
ファシリテーター:飯田志保子(東京藝術
大学准教授)

②国際展・芸術祭の人材育成
ファシリテーター:帆足亜紀

全体討論「現場の声から—これから求めら れる国際展・芸術祭の形と人材」

日時:9月27日(水) 11:30~12:00

会場:円形フォーラム

ファシリテーター:飯田志保子(東京藝術大
学准教授)

●国際セミナー「接続する国際展・芸術祭」

日時:9月27日(水) 13:30~16:00

主催:横浜トリエンナーレ組織委員会,文化庁
共催:横浜美術館

会場:レクチャーホール

参加人数:160人

基調講演「直島から瀬戸内国際芸術祭へ」

講演者:福武總一郎(株式会社ベネッセホー
ルディングス名誉顧問)

パネルディスカッション「接続する国際展・ 芸術祭—これからの姿」

パネリスト:

チアゴ・ドゥ・パウラ・ソウザ(第10回ベル
リン・ビエンナーレ キュレトリアルチーム
メンバー)

ビゲ・オール(イスタンブール・ビエンナー
レ ディレクター)

山出淳也(NPO法人 BEPPU PROJECT
代表理事/アーティスト)

司会:逢坂恵理子

●視察

CCNJ国際展部会

9月27日(水)

資料

入館者数・収支

◎入館者数

経年推移

平成元年度	1,127,386人	平成11年度	792,905人	平成21年度	540,047人
平成2年度	990,818人	平成12年度	1,082,553人	平成22年度	1,408,713人
平成3年度	555,276人	平成13年度	862,895人	平成23年度	459,716人
平成4年度	541,465人	平成14年度	372,395人	平成24年度	662,159人
平成5年度	1,327,380人	平成15年度	780,928人	平成25年度	1,058,689人
平成6年度	528,995人	平成16年度	331,873人	平成26年度	529,748人
平成7年度	989,037人	平成17年度	1,527,694人	平成27年度	533,750人
平成8年度	344,239人	平成18年度	341,657人	平成28年度	584,725人
平成9年度	942,509人	平成19年度	413,410人	平成29年度	451,228人
平成10年度	278,954人	平成20年度	770,310人		(平成30年3月31日現在)

平成29年度事業別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
企画展	6,029	15,597	24,179	0	39,107	33,163	40,626	18,216	4,696	5,859	9,313	4,491	201,276
コレクション展	12,844	20,168	26,604	0	0	0	0	0	7,300	9,179	13,403	5,266	94,764
New Artist Picks展	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,717	6,717
美術情報センター	2,692	3,357	2,716	1,202	14,331	13,441	15,561	6,605	2,126	3,025	3,287	3,349	71,692
鑑賞サポート	617	1,008	397	295	1,986	3,977	6,072	512	258	307	445	308	16,182
子どものアトリエ	1,916	2,428	2,543	2,479	1,663	2,171	1,865	2,804	1,448	2,212	2,439	1,701	25,669
市民のアトリエ	40	585	542	692	191	576	614	568	485	529	697	399	5,918
市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業	246	430	542	703	516	643	802	278	274	269	322	164	5,189
広報の活動、外部と連携した事業	141	1,303	1,247	218	159	667	602	140	474	280	2,196	2,375	9,802
その他	900	1,403	1,321	90	1,605	875	1,600	501	2,524	1,115	1,289	796	14,019
合計	25,425	46,279	60,091	5,679	59,558	55,513	67,742	29,624	19,585	22,775	33,391	25,566	451,228

◎収支

収入

指定管理料	759,971,000
利用料金収入	66,761,951
自主事業収入	149,358,081
雑入	64,622,450
合計	1,040,713,482

支出

人件費	366,706,267
事務費	17,811,624
事業費	243,384,832
管理費	215,712,202
公租公課	30,536,297
事務経費	150,084,623
合計	1,024,235,845

役員等・組織図

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団役員

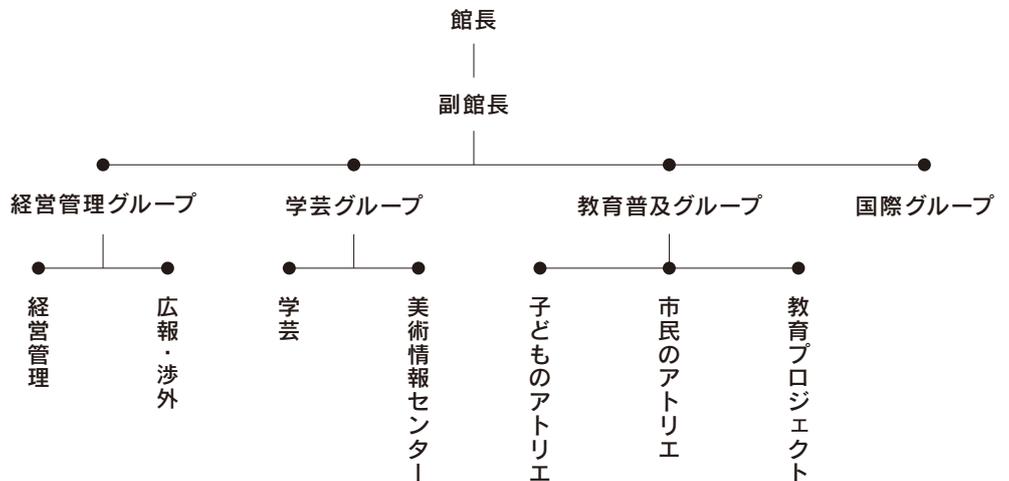
理事長	澄川喜一	彫刻家／元東京藝術大学 学長(代表理事)
専務理事	島田京子	元日本女子大学事務局長(代表理事)
常務理事	恵良隆二	広報・ACYグループ担当理事(業務執行理事)
理事	清水克彦	事務局長 兼 総務グループ長(業務執行理事)
	藤崎信裕	経営企画室長 兼 横浜みなとみらいホール総支配人(業務執行理事)
	逢坂恵理子	横浜美術館 館長(業務執行理事)
	中村雅之	横浜能楽堂 館長(業務執行理事)
	近澤弘明	株式会社近沢レース店 代表取締役社長
	富岡順一	前国際交流基金 事業開発戦略室長
	久野敦子	公益財団法人セゾン文化財団事務局長 兼 プログラム・ディレクター
監事	齋藤貴司	税理士／ベイ・タックス税理士法人 代表社員
	柴田悟一	前横浜商科大学学長／横浜市立大学 名誉教授

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団評議員

上野 孝	横浜商工会議所 会頭／上野トランステック株式会社 代表取締役会長兼社長
小川純子	NHK横浜放送局 局長
新堀豊彦	横浜能楽連盟 名誉会長
鈴木 隆	株式会社横浜国際平和会議場 代表取締役社長
中村行宏	株式会社テレビ神奈川 代表取締役社長
中山こずゑ	横浜市文化観光局 局長
並木裕之	株式会社神奈川新聞社 代表取締役社長

(平成30年3月31日現在)

横浜美術館組織図



職員名簿

館長			逢坂恵理子		
副館長			五十嵐誠一		
副館長・主席学芸員			柏木智雄		
経営管理グループ	経営管理	経営管理グループ長	古賀美弥子		
		経営管理グループ長(中期経営企画等担当)	杉浦正美		
		チームリーダー	吉川由紀子		
		施設担当リーダー	迫田利則		
		担当リーダー	佐藤正美		
			足立陽子		
			梅澤のど佳		
			奥津絵里		
			長島愛子		
			永田麻子		
			普川由貴子		
		広報・渉外	広報・渉外	広報・渉外チームリーダー	鈴木慶子
				担当リーダー	襟川文恵
				担当リーダー	藤井聡子
	堀内美穂				
		山崎聖一			
学芸グループ	学芸	学芸グループ長・主席学芸員	沼田英子		
		美術情報センター担当グループ長	八柳サエ		
		主任司書/主任学芸員			
		主任学芸員(チームリーダー)	内山淳子		
		主任学芸員(チームリーダー)	中村尚明		
		主任学芸員(担当リーダー)	松永真太郎		
		学芸員	大澤紗蓉子		
		学芸員	大下裕司		
		学芸員	片多祐子		
		学芸員	金井真悠子		
		学芸員	坂本恭子		
		学芸員	長谷川珠緒		
		学芸員	日比野民蓉		
		レジストラ	相原佳奈子		
		大沢知二			
美術情報センター	司書	菱村宏子			
教育普及グループ		教育普及グループ長・首席エディタ	関 淳一		
		子どものアトリエ	担当グループ長・首席エディタ	山崎 優	
			主任エディタ(担当リーダー)	岡崎智美	
		市民のアトリエ	創作・造形エディタ	高德早矢香	
			主任エディタ(チームリーダー)	木下貴博	
			主任エディタ(担当リーダー)	柳川文秀	
		教育プロジェクト		創作・造形エディタ	櫻庭瑠実
				主任エディタ/主任学芸員(チームリーダー)	端山聡子
鑑賞教育エディタ/学芸員	太田雅子				
鑑賞教育エディタ/学芸員	河上祐子				
		鑑賞教育エディタ	大岩久美		
国際グループ	国際	国際グループ長	帆足亜紀		
		担当リーダー・主任学芸員	木村絵理子		
		担当リーダー・コーディネーター	庄司尚子		

48名(平成30年3月31日現在)

*同職名の場合は、五十音順

条例・施行規則

横浜美術館条例

昭和63年9月24日
条例第44号

横浜美術館条例をここに公布する。
横浜美術館条例

(設置)

第1条 美術文化の振興と市民の美術に関する学習、創作活動等に寄与するため、横浜美術館(以下「美術館」という。)を横浜市西区に設置する。
(平元条例39・平10条例25・一部改正)

(事業)

第2条 美術館は、次の事業を行う。
(1) 美術品及び美術に関する資料(以下「美術品等」という。)の保管、調査研究、展示及び利用に関すること。
(2) 美術に関する情報の収集及び提供に関すること。
(3) 美術に関する調査及び研究に関すること。
(4) 美術に関する市民の創作活動等の指導及び助言に関すること。
(5) 美術に関する講演会、講習会、講座等の開催に関すること。
(6) 前各号の事業のための施設及び設備の提供に関すること。
(7) その他美術館の設置の目的を達成するために必要な事業

(施設)

第3条 前条に掲げる事業を行うため、美術館に次の施設を置く。
(1) 常設展示室、美術情報室、美術図書室及びグランドギャラリー
(2) 企画展示室、アトリエ及びレクチャーホール
(3) 駐車場
(平23条例23・一部改正)

(開館時間等)

第4条 美術館の開館時間及び休館日は、規則で定める。

(指定管理者の指定等)

第5条 次に掲げる美術館の管理に関する業務は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、指定管理者(同項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に行わせるものとする。
(1) 美術館の施設の利用の許可等に関すること。
(2) 特別利用(第9条第1項に規定する特別利用をいう。)の許可等に関すること。
(3) 第2条に規定する事業の実施に関すること。
(4) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
(5) その他市長が定める業務
2 指定管理者は、横浜市の文化芸術の振興及び普及に関する施策の方針を理解し、美術に関する高度な専門的知識を有するとともに、美術品等の保管、調査研究及び展示、美術に関する講座等の開催その他美術文化の振興を図るための事業を自ら企画し、及び実施し、並びに市民による美術に関する学習、創作活動等に対する支援を行うものでなければならない。
3 指定管理者の指定を受けようとするものは、事業計画書その他規則で定める書類を市長に提出しなければならない。
4 市長は、前項の規定により提出された書類を審査し、かつ、実績等を考慮して、美術館の設置の目的を最も効果的に達成することができるものと認めたものを指定管理者として指定する。
5 市長は、指定管理者の候補者を選定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、第15条第1項に規定する横浜美術館指定管理者選定評価委員会(以下「選定評価委員会」という。)の意見を聴かななければならない。
(平17条例69・追加、平23条例48・一部改正)

(指定管理者の指定等の公告)

第6条 市長は、指定管理者の指定をしたとき、及びその指定を取り消したときは、遅滞なく、その旨を公告しなければならない。
(平17条例69・追加)

(管理の業務の評価)

第7条 指定管理者は、市長が特別の事情があると認める場合を除き、その指定の期間において、第5条第1項各号に掲げる美術館の管理に関する業務について、選定評価委員会の評価を受けなければならない。
(平23条例48・追加)

(利用の許可)

第8条 第3条第2号に掲げる施設を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。
2 指定管理者は、前項の許可に美術館の管理上必要な条件を付けることができる。
3 指定管理者は、美術館の施設の利用が次のいずれかに該当する場合は、利用を許可しないものとする。
(1) 美術館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあるとき。
(2) 美術館の設置の目的に反するとき。
(3) 美術館の管理上支障があるとき。
(4) その他指定管理者が必要と認めたとき。
4 第1項の許可の手続について必要な事項は、規則で定める。
(平10条例17・一部改正、平17条例69・旧第5条線下・一部改正、平23条例48・旧第7条線下)

(美術品等の特別利用の許可)

第9条 美術館に保管され、又は展示されている美術品等について、学術研究等のため、撮影、模写、模造、熟覧等(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。
2 指定管理者は、前項の許可に美術品等の保全上及び美術館の管理上必要な条件を付けることができる。
3 指定管理者は、特別利用が次のいずれかに該当する場合は、特別利用を許可しないものとする。
(1) 美術品等の保全上支障があるとき。
(2) 美術館の管理上支障があるとき。
(3) 美術館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあるとき。
(4) その他指定管理者が必要と認めたとき。
4 第1項の許可の手続について必要な事項は、規則で定める。
(平17条例69・旧第6条線下・一部改正、平23条例48・旧第8条線下)

(利用料金)

第10条 常設展示室において、展示されている美術品等を観覧しようとする者は、指定管理者に対し、その利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を支払わなければならない。
2 美術情報室において、美術情報機器を利用しようとする者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
3 レクチャーホールの利用について、第8条第1項の規定による許可を受けた者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
4 特別利用について、前条第1項の規定による許可を受けた者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
5 駐車場を利用する者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
6 第1項の利用料金にあつては別表第1に定める額の範囲内において、第2項の利用料金にあつては別表第2に定める額の範囲内において、第3項の利用料金にあつては別表第3に定める額の範囲内において、第4項の利用料金にあつては1点につき1回又は1日ごとに3,000円の範囲内において、前項の利用料金にあつては別表第4に定める額の範

条例・施行規則

圏内において、指定管理者が市長の承認を得て定めるものとする。

7 第1項から第4項までの利用料金は、前納とする。ただし、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、指定管理者は、後納とすることができる。

8 第5項の利用料金は、後納とする。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第7条繰下・一部改正、平23条例23・一部改正、平23条例48・旧第9条繰下・一部改正)

(利用料金の減免)

第11条 指定管理者は、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、利用料金の全部又は一部を免除することができる。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第8条繰下・一部改正、平23条例48・旧第10条繰下)

(利用料金の不返還)

第12条 既納の利用料金は、返還しない。ただし、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、指定管理者は、その全部又は一部を返還することができる。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第9条繰下・一部改正、平23条例48・旧第11条繰下)

(許可の取消し等)

第13条 指定管理者は、第8条第1項及び第9条第1項の規定により許可を受けた者が次のいずれかに該当する場合は、当該許可を取り消し、又は施設の利用若しくは特別利用を制限し、若しくは停止させることができる。

(1) 第8条第3項各号又は第9条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

(2) この条例若しくはこの条例に基づく規則の規定又はこれらに基づく指定管理者の処分に違反したとき。

(3) この条例に基づく許可の条件に違反したとき。

(平10条例17・一部改正、平17条例69・旧第10条繰下・一部改正、平23条例48・旧第12条繰下・一部改正)

(入館の制限)

第14条 指定管理者は、美術館の入館者が次のいずれかに該当する場合は、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

(1) 他の入館者に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるとき。

(2) その他美術館の管理上支障があるとき。

(平17条例69・旧第11条繰下・一部改正、平23条例48・旧第13条繰下)

(横浜美術館指定管理者選定評価委員会)

第15条 指定管理者の候補者の選定、指定管理者による美術館の管理の業務に係る評価等について調査審議するため、横浜美術館指定管理者選定評価委員会を置く。

2 選定評価委員会は、市長が任命する委員10人以内をもって組織する。

3 前項に定めるもののほか、選定評価委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が定める。

(平23条例48・追加)

(委任)

第16条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(平17条例69・旧第13条繰下、平23条例48・旧第14条繰下)

附則

この条例は、規則で定める日から施行する。

(平成元年10月規則第96号により同年11月3日から施行)

附則(平成元年9月条例第39号)

この条例は、横浜美術館条例の施行の日から施行する。

附則(平成10年3月条例第17号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成10年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際既にこの条例による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき施設の使用の申請を行っている者に係る当該施設の料金の納付等に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附則(平成13年2月条例第7号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附則(平成14年2月条例第5号)抄

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

附則(平成17年6月条例第69号)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前の横浜美術館条例第12条の規定によりその管理に関する事務を委託している横浜美術館については、地方自治法の一部を改正する法律(平成15年法律第81号)附則第2条に規定する日までの間は、なお従前の例による。

附則(平成19年2月条例第6号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附則(平成23年3月条例第23号)

この条例は、平成23年4月1日から施行する。

附則(平成23年12月条例第48号)

(施行期日)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき公の施設の管理に関する業務を行っている指定管理者が、その指定の期間においてこの条例の施行の日前までにこの条例による改正後のそれぞれの条例の規定による当該業務についての評価に相当する評価を受けている場合にあっては、当該期間においては当該業務についての評価に係るこれらの規定は適用しない。

附則(平成28年2月条例第4号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

別表第1(第10条第6項)

(平10条例17・平13条例7・平17条例69・平19条例6・平23条例23・平23条例48・平28条例4・一部改正)

区分	単位	利用料金	
		個人	団体(20人以上)
一般		500円	400円
大学生・高校生	1人1回につき	300円	240円
中学生・小学生		100円	80円

(備考)

- 1 「一般」とは、「大学生・高校生」、「中学生・小学生」及び小学校(義務教育学校の前期課程、特別支援学校の小学部及びこれらに準ずるものを含む。)に就学するまでの者以外の者をいう。
- 2 「大学生・高校生」とは、大学、短期大学、高等専門学校、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、専修学校若しくは各種学校在学する学生若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
- 3 「中学生・小学生」とは、中学校、中等教育学校の前期課程、義務教育学校、小学校若しくは特別支援学校の中学部若しくは小学部に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者をいう。
- 4 小学校(義務教育学校の前期課程、特別支援学校の小学部及びこれらに準ずるものを含む。)に就学するまでの者は、無料とする。

別表第2(第10条第6項)

(平10条例17・平17条例69・平23条例23・平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金
ピアノ学習システムブース	1回につき	100円
名画鑑賞システムブース		100円

別表第3(第10条第6項)

(平10条例17・全改、平17条例69・平23条例23・平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金	
		平日	日曜日、土曜日及び休日
レクチャーホール	1日につき	20,000円	24,000円
附帯設備	1式、1台又は1枚、1日につき	150,000円	

(備考)

- 1 「1日」とは、午前10時から午後9時までをいう。
- 2 「平日」とは日曜日、土曜日及び休日以外の日をいい、「休日」とは国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日をいう。
- 3 レクチャーホール及び附帯設備の利用が、午前10時から午後9時までの時間以外の時間(以下「時間外」という。)にわたった場合の当該時間外に係る利用料金の額は、時間外における利用1時間につき、レクチャーホール及び利用する当該附帯設備の1日の利用料金の額にそれぞれ8分の1を乗じて得た額を合算して得た額とする。この場合において、時間外における利用時間が1時間未満のとき、又はこれに1時間未満の端数があるときは、その時間又は端数時間を1時間として計算する。

別表第4(第10条第6項)

(平23条例23・追加、平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金
大型車	1台、30分につき	500円
その他のもの	1台、1時間30分まで	500円
	利用時間が1時間30分を超えるときは、超過時間30分までごとに250円を加算する。	

条例・施行規則

横浜美術館条例施行規則

平成元年10月25日
規則第97号

横浜美術館条例施行規則をここに公布する。
横浜美術館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、横浜美術館条例(昭和63年9月横浜市条例第44号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 横浜美術館(以下「美術館」という。)の開館時間は、次のとおりとする。
(1) 常設展示室、美術情報室、美術図書室、グランドギャラリー、企画展示室及びアトリエ 午前10時から午後6時まで
(2) レクチャーホール 午前10時から午後9時まで
(3) 駐車場 午前10時から午後9時まで(大型車にあつては、午前10時から午後6時まで)
2 市長は、前項の規定にかかわらず、特に必要があると認める場合は、開館時間を変更することができる。
(平23規則22・一部改正)

(休館日)

第3条 美術館の休館日は、次のとおりとする。
(1) 木曜日。ただし、その日が、国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときはその翌日とし、当該翌日が休日に当たるときは日曜日、土曜日及び休日のいずれにも当たらない直近の日とする。
(2) 1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで
2 市長は、前項の規定にかかわらず、特に必要があると認める場合は、休館日に開館し、又は休館日以外の日に開館しないことができる。
(平14規則32・一部改正)

(指定申請書の提出等)

第4条 指定管理者の指定を受けようとするものは、指定申請書(第1号様式)を市長に提出しなければならない。
2 前項の申請書には、条例第5条第3項に規定する事業計画書及び次に掲げる書類を添付しなければならない。
(1) 定款、寄附行為、規約その他これらに類する書類
(2) 法人にあつては、当該法人の登記事項証明書
(3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の収支予算書及び事業計画書並びに前事業年度及び前々事業年度の収支計算書及び事業報告書
(4) 美術館の管理に関する業務の収支予算書
(5) その他市長が必要と認める書類
(平17規則89・追加、平19規則47・一部改正)

(施設の利用許可申請等)

第5条 条例第8条第1項の規定により美術館の施設の利用の許可を受けようとする者は、利用許可申請書(第2号様式)を指定管理者に提出しなければならない。
2 指定管理者は、企画展示室及びアトリエについては、指定管理者と共催して美術館の設置目的に合致する事業を行うため当該施設を利用しようとする団体に対し、利用を許可するものとする。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第4条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(申請の受付)

第6条 前条第1項の申請の受付は利用日の3箇月前の日の属する月の初日から行うものとし、受付時間は午前10時から午後5時までとする。ただし、

指定管理者が主催し、又は共催して利用する場合は、この限りでない。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第5条線下・一部改正)

(特別利用の許可申請)

第7条 条例第9条第1項の規定により特別利用の許可を受けようとする者は、特別利用許可申請書(第3号様式)を指定管理者に提出しなければならない。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第6条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(申請の受付)

第8条 前条の申請は特別利用をしようとする日の7日前までに行わなければならないものとし、受付時間は午前10時から午後5時までとする。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第7条線下)

(観覧券の発行)

第9条 指定管理者は、常設展示室において展示されている美術品及び美術に関する資料を観覧しようとする者に対し、観覧券を発行するものとする。この場合において、観覧券の発行は、閉館時間の30分前まで行うものとする。
2 前項に規定する観覧券は、利用料金と引換えに交付する。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第8条線下・一部改正)

(美術情報機器の利用)

第10条 条例第10条第2項に規定する美術情報機器を利用しようとする者は、美術情報機器に備付けの料金受入機により利用料金を納付しなければならない。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第9条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(利用料金の後納)

第11条 条例第10条第7項ただし書に規定する規則で定める場合は、国又は地方公共団体が利用する場合とする。
(平10規則42・旧第11条線下・一部改正、平17規則89・旧第10条線下・一部改正、平23規則22・平24規則16・一部改正)

(利用料金の減免)

第12条 条例第11条に規定する規則で定める場合は次の各号に掲げるとおりとし、免除する利用料金の額は当該各号に定めるとおりとする。この場合において、その額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。
(1) 教職員に引率された横浜市内の小学校(特別支援学校の小学部を含む。)若しくは中学校(中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。)の児童若しくは生徒又は各種学校の小学校若しくは中学校に相当する課程に在学する者の団体及びそれらの引率者が、教育上の目的から常設展示室において展示されている美術品及び美術に関する資料の観覧(以下「常設展の観覧」という。)をする場合 利用料金の全額
(2) 土曜日に、小学校(特別支援学校の小学部を含む。)、中学校(中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。)若しくは高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)の児童若しくは生徒、高等専門学校、専修学校若しくは各種学校の小学校、中学校若しくは高等学校に相当する課程に在学する者又はこれらに準ずると認められる者が、常設展の観覧をする場合 利用料金の全額
(3) 教職員に引率された横浜市内の高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)の生徒又は高等専門学校、

専修学校若しくは各種学校の高等学校に相当する課程に在学する者の団体及びそれらの引率者が教育上の目的から常設展の観覧をする場合 利用料金の半額

- (4) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法（昭和22年法律第164号）第12条第1項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害との判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの者の介護者が、常設展の観覧をする場合 利用料金の全額
- (5) 国又は地方公共団体がレクチャーホールを利用する場合 利用料金の全額
（平7規則45・平8規則20・一部改正、平10規則42・旧第12条繰上・一部改正、平11規則28・平13規則36・平17規則31・一部改正、平17規則89・旧第11条繰下・一部改正、平19規則47・平24規則16・一部改正）

（利用料金の返還）

第13条 条例第12条ただし書に規定する規則で定める場合は次の各号に掲げるとおりとし、返還する利用料金の額は当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 常設展の観覧、美術情報機器及びレクチャーホールの利用並びに美術品及び美術に関する資料の特別利用について、観覧、利用及び特別利用をする者の責めに帰することができない事由によりこれらの行為ができなくなった場合 既納の利用料金の全額
- (2) レクチャーホールの利用の許可を受けた者が利用日の30日前までに利用の許可の取消しを申し出た場合 既納の利用料金の全額
- (3) 特別利用の許可を受けた者が利用日の前日までに特別利用の許可の取消しを申し出た場合 既納の利用料金の全額
（平10規則42・追加、平17規則89・旧第12条繰下・一部改正、平24規則16・一部改正）

（委任）

第14条 この規則の施行に関し必要な事項は、文化観光局長が定める。
（平10規則42・旧第14条繰上、平17規則89・旧第13条繰下・一部改正、平18規則84・平22規則29・平23規則22・一部改正）

附則

この規則は、平成元年11月3日から施行する。

附則（平成4年9月規則第88号）

この規則は、平成4年9月12日から施行する。

附則（平成6年3月規則第41号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

（経過措置）

3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の（中略）規定により作成されている様式書類は、この規則の施行の日から1年間は、適宜修正の上使用することができる。

附則（平成7年3月規則第45号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附則（平成8年3月規則第20号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附則（平成10年3月規則第42号）

（施行期日）

1 この規則は、平成10年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のそれぞれの規則の規定は、この規則の施行の日以後の申請に係る料金の減免及び返還について適用し、同日前の申請に係る料金の減免及び返還については、なお従前の例による。

3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前のそれぞれの規則の規定により作成されている様式書類は、なお当分の間、適宜修正の上使用することができる。

4 前2項に定めるもののほか、この規則の施行について必要な事項は、市長が定める。

附則（平成11年3月規則第28号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附則（平成13年3月規則第36号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附則（平成14年3月規則第32号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附則（平成17年3月規則第31号）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附則（平成17年6月規則第89号）

この規則は、公布の日から施行する。

附則（平成18年3月規則第84号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

（経過措置）

5 この規則の施行の際現に決裁処理の過程にある事案の処理については、なお従前の例による。

附則（平成19年3月規則第47号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附則（平成22年3月規則第29号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

（経過措置）

6 この規則の施行の際現に決裁処理の過程にある事案の処理については、なお従前の例による。

附則（平成23年3月規則第22号）

この規則は、平成23年4月1日から施行する。ただし、第14条の改正規定は、平成23年5月1日から施行する。

附則（平成24年3月規則第16号）

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附則（平成28年3月規則第23号）

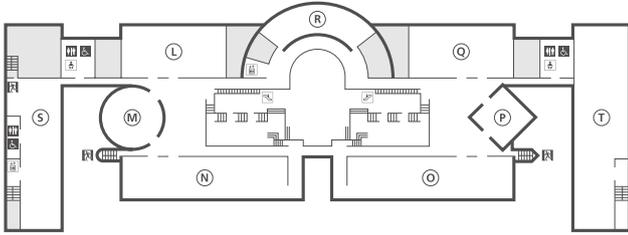
この規則は、平成28年4月1日から施行する。

第1号様式（第4条第1項）

（平17規則89・追加、平19規則47・一部改正）

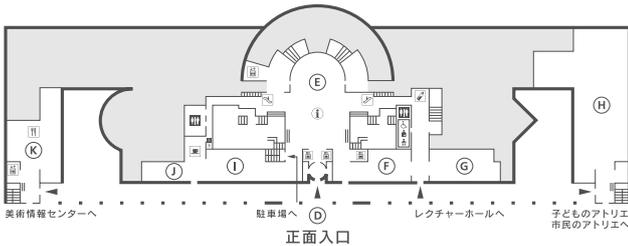
※ 様式省略

3F



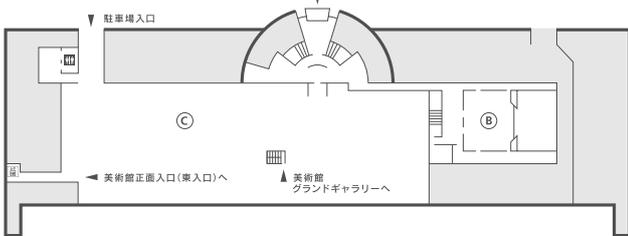
- ①-② 展示室
- ③ 美術情報センター
- ④ 市民のアトリエ

2F



- ⑤ 正面入口
- ⑥ グランドギャラリー
- ⑦ アートギャラリー2
- ⑧ アートギャラリー1
- ⑨ 子どものアトリエ
- ⑩ ミュージアムショップ
- ⑪ カフェ
- ⑫ レストラン

1F



- ⑬ 西入口
- ⑭ レクチャーホール
- ⑮ 駐車場

建築概要

敷地面積 19,803m²
 建築面積 9,621m²
 延床面積 26,829m²
 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造8階建(一部3階建)
 外装 花崗岩張り、アルミ成型板張り、軽量コンクリート金ゴテ押さえ、断熱セメントブロック敷込み、金属成型板張り
 内装 岩綿吸音板、プラスターボード、フレキシブルボード、金属成型パネル、花崗岩張り、フローリング板張り
 設計 丹下健三・都市・建築設計研究所
 監理 横浜市建築局、丹下健三・都市・建築設計研究所
 施工 建築工事:JV(竹中工務店、清水建設、奥村組、東急建設、佐藤工業、奈良建設ほか計18社)

休館日

木曜日(祝日を除く)、木曜日に祝日開館した場合はその翌日、年末年始。

開館時間

展覧会: 10:00~18:00(入館は17:30まで)
 美術情報センター: 10:00~18:00(入室および各種利用受付は17:30まで)
 *次の施設は利用時間が異なります。
 ミュージアムショップ: 11:00~18:00
 Café小倉山: 10:45~18:00(ラストオーダー17:30)
 駐車場: 10:00~21:00/収容台数: 169台
 有料(最初の90分500円、以降30分毎に250円)

観覧料

コレクション展: 一般	500(400)円
大学・高校生	300(240)円
中学生	100(80)円
小学生以下	無料

企画展: 展覧会ごとに異なる

()内は有料20名以上の団体料金(要事前申込)

交通案内

電車:

みなとみらい線(東急東横線直通)を利用の場合:
 みなとみらい駅下車、3番出口からマークイズみなとみらい<グランドガレリア>経由、徒歩3分。または<マークイズ連絡口>(10:00~)徒歩5分。
 JR、横浜市営地下鉄を利用の場合:
 桜木町駅下車(動く歩道)を利用、徒歩10分。

車:

桜木町駅前から日本丸方面へ入り。または桜木町駅前から紅葉坂交差点を右折してMM21地区へ入り、美術館へ。横浜駅からは高島町MM21地区入口を通して美術館へ。いずれも3~5分(首都高速「みなとみらい出入口」も利用できます)。

平成29年度 横浜美術館年報

平成31年3月31日発行

編集・発行：横浜美術館
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1
TEL:045-221-0300(代) FAX:045-221-0317
<https://yokohama.art.museum>

デザイン：峯石景子
印刷・製本：山陽印刷株式会社

© Yokohama Museum of Art 2019

